シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	トレーニングの基礎		
講義コード	J101		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

ダンスパフォーマンスの向上に必要な筋力、瞬発力、筋持久力、全身持久力、調整力、柔軟性をつけるトレーニング方法を学び、合わせて身体の合理的な使い方を理解する。

到達目標

レジスタンストレーニング、有酸素運動などで体力がつく。身体機能の予備力がつく。様々な動きに対応できる。運動能力の高いダンサーやパフォーマーの基礎体力がつく。

方法

自主的に活動する場面が多いので、トレーニングの必要性を理解した上で、課題を持って取り組む。また授業以外の自主トレーニングに発展することを期待する。

評価方法

授業態度　70%
実技試験　20%
レポート課題　10%

留意事項

自分の身体的に関心を持ち、生涯にわたって実践していくトレーニングの課題を見つけ出してほしい。またその有用性を実感し、行動変容を図ってほしい。

教科書

参考文献

トレーニングの科学的基礎（宮下充正　著）ブックハウスＨＤ

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	トレーニングの基本的な原理原則をもとに、自宅でもできるメニューを作成する	事後、トレーニングメニューを記録する
第2回	トレーニングの基本的な原理原則をもとに、自宅でもできるメニューを作成する	事後、トレーニングメニューを記録する
第3回	自分の体重や身の周りにあるものを負荷にした創造力あふれるトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第4回	自分の体重や身の周りにあるものを負荷にした創造力あふれるトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第5回	自分の体重や身の周りにあるものを負荷にした創造力あふれるトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第6回	自分の体重や身の周りにあるものを負荷にした創造力あふれるトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第7回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第8回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第9回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第10回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第11回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第12回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第13回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第14回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第15回	ダンスなどのパフォーマンス向上につながる目的別のトレーニングを考える	事後、トレーニングメニューを記録する
第16回	実践中のトレーニングメニューが課題改善につながっているかを見極め、メニューを見直す	事後、トレーニングメニューを記録する
第17回	実践中のトレーニングメニューが課題改善につながっているかを見極め、メニューを見直す	事後、トレーニングメニューを記録する
第18回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第19回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第20回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第21回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第22回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第23回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第24回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第25回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第26回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第27回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第28回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第29回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する
第30回	各自の目的に合わせ、更に効果的なトレーニングメニューを開発する	事後、トレーニングメニューを記録する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	レクリエーション実技		
講義コード	J102		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	５時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

レクリエーション活動の効果的支援に必要な、コミュニケーション・ワークやレクリエーションスポーツなどの実践方法を学ぶことは、生活文化の向上につながる。

到達目標

家庭や地域、学校や職場などでレクリエーション支援を行うことができる。ホスピタリティあふれるレクリエーション活動をすることができる。

方法

レクリエーション材に積極的な態度で接する。レクリエーション材の楽しさをみんなで共有する姿勢を身につける。

評価方法

授業態度（60%）実技試験（20%）作品つくり（10%）レポート課題（10%）

留意事項

心からレクリエーションを楽しむためには、豊かな創造力が必要である。またホスピタリティが要求される場面が多いので、いつも相手の気持ちになって行動してほしい。

教科書

参考文献

レクリエーション支援の基礎（公益財団法人日本レクリエーション協会）

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第2回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第3回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第4回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第5回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第6回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第7回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第8回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第9回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第10回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第11回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第12回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第13回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第14回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第15回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第16回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第17回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第18回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第19回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第20回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第21回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第22回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第23回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニュースポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第24回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるクラフトの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第25回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるクラフトの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第26回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるクラフトの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第27回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる
第28回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる
第29回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる
第30回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ダンスの基礎Ⅰ		
講義コード	J103		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　明子		

意義と目的

７月七夕ライブ、１２月クリスマスイベントでの発表を通じて、ダンスのテクニック、表現力を学ぶことができる。

到達目標

①１つの作品を踊り込むことによって、深くダンスの基礎を習得し、より正確なテクニックや表現ができる。
②テーマパークダンス（ショーダンス）について学び、テーマパークダンサー（ショーダンサー）としてのダンスが踊ることができる。

方法

１つ１つの基礎の大切さを指導する。

評価方法

実技（７０％）　授業態度（３０％）

留意事項

ウォーミングアップのストレッチやトレーニングで体のどこを使っているか意識して行ってほしい。振りつけでは自分のところだけでなく、他の人の所も覚えようという意欲がほしいです。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ウォーミングアップの説明とグランバットマン、ターン、クロスフロア	振り付けは次の授業までに復習すること、授業後のクールダウン・ストレッチは各自ですること
第2回	「シャイニングスター」振り付け	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	〃	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	テスト	〃
第9回	２曲目（曲目未定）　振り付け	〃
第10回	〃	〃
第11回	〃	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	テスト	〃
第16回	ハロウィンの曲を振り付け	振り付けは次の授業までに復習してくる。授業後クールダウン・ストレッチは各自ですること
第17回	〃	
第18回	〃	
第19回	〃	
第20回	テスト	
第21回	クリスマス曲を振り付け	
第22回	〃	
第23回	〃	
第24回	〃	
第25回	〃	
第26回	テスト	
第27回	いろいろなスタイルのテーマパークダンスを学ぶ	
第28回	〃	
第29回	〃	
第30回	〃	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	テーマパークダンスⅠ		
講義コード	J104		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	内　絵梨香		

意義と目的

テーマパークダンサーとはどういうことなのかを学び、ダンススキルやテクニックはもちろん自らが考える力も養っていく。

到達目標

徹底的にテーマパークダンスに必要な基礎の部分を見てもらい、今何が自分に足りないのかを自覚しそれを身に付けることができる。

方法

段階をきちんと踏みテーマパークダンスの土台をきちんとつくっていけるよう丁寧に授業を進めていく。

評価方法

授業態度（５０%）　実技試験（５０%）

留意事項

学ぶ努力を惜しまずその日の授業で自分が何を得ることができるだろうかと常に考えながら授業に臨んでほしい。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	基礎の見直し	事後・授業内容の復習
第2回	〃	事前・前回の留意点の確認
第3回	基本の動きを学ぶ（ポーズ・移動など）	事後・授業内容の復習
第4回	〃	事前・前回の留意点の確認
第5回	身体の使い方（上半身）	事後・授業内容の復習
第6回	〃	事前・前回の留意点の確認
第7回	身体の使い方（下半身）	事後・授業内容の復習
第8回	〃	事前・前回の留意点の確認
第9回	身体の使い方（総合的に）	事後・授業内容の復習
第10回	〃	事前・前回の留意点の確認
第11回	基本的な柔らかい動作	事後・授業内容の復習
第12回	〃	事前・前回の留意点の確認
第13回	基本的な力強い動作	事後・授業内容の復習
第14回	〃	事前・前回の留意点の確認
第15回	応用編　①	事前・これまで学んだ事を振り返る
第16回	曲・音・歌詞などの表現方法（ダンステクニック）	事後・授業内容の復習
第17回	〃	〃
第18回	〃	事前・自分が注意すべきことを考える
第19回	曲・音・歌詞などの表現方法（表情）	事後・授業内容の復習
第20回	〃	〃
第21回	〃	事前・表情の練習など必要なことを練習しておく
第22回	曲・音・歌詞などの表現方法（心）	事後・授業内容の復習
第23回	〃	〃
第24回	〃	事前・テクニック+表情+心とは何かを考えておく
第25回	応用編②	事前・これまでに学んだことを振り返る
第26回	一連の流れを想定した総合的な動き	事後・授業内容の復習
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	〃	事後・一年通じて総合的に自分が成長できた部分、できない部分を具体的に書き出し次へつなげていく。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	シアタージャズ		
講義コード	J105		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	朝倉　由実子		

意義と目的

舞台・ステージにおいてダンサー（アクター）に求められる、基礎的な身体技術と表現方法を習得する。

到達目標

①ダンサーに必要な身体能力（筋力・柔軟性・ボディコントロール）の知識を習得し、アウトプットすることができる。
②課題（振り付け・コンビネーション）をしっかりと理解し、体現することができる。
③基礎動作を習得することができる。

方法

毎回の授業で先週の復習をアウトプットも繰り返し行い、自身の習得状況を常に把握し、目標達成へのアプローチを生徒と講師とで共有していく。

評価方法

知識試験（期末・中間・小テスト・レポート）　４０％　実技上達度（身体技術・表現技術・プレゼンテーション）４０％　授業態度　２０％

留意事項

ダンスを知識理解と身体学習の両面から均等にアプローチしていく。目標を定め確実に技術を習得していく。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

・ダンス動画　・フィットネス書籍　等

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	シアターダンスを体験する　・シアタージャズの簡易的なミニミニ作品を踊ってみる	
第2回	シアターダンス基礎①柔軟・呼吸法	前回内容　アウトプット
第3回	シアターダンス基礎②体幹Ⅰ	〃
第4回	シアターダンス基礎③体幹Ⅱ	〃
第5回	シアターダンス基礎④バレエテクニックⅠ　ボディコントロール　下半身	〃
第6回	シアターダンス基礎⑤バレエテクニックⅡ　ボディコントロール　上半身	〃
第7回	シアターダンス基礎⑥JAZZテクニック　アイソレーション	〃
第8回	前々半まとめ　ミニテスト・ミニ実技テスト	
第9回	シアターダンス基礎⑦JAZZテクニック　ピルエット・インサイド	前回感想　レポート提出
第10回	シアターダンス基礎⑧JAZZテクニック　バットマン・Jump	前回内容　アウトプット
第11回	シアターダンス基礎⑨JAZZテクニック　その他	〃
第12回	シアターダンス基礎⑩JAZZシアターテクニック　ウォーキング	〃
第13回	シアターダンス基礎⑪JAZZシアターテクニック　フロアテクニックⅠ	〃
第14回	シアターダンス基礎⑫JAZZシアターテクニック　フロアテクニックⅡ	〃
第15回	前半まとめ　ミニテスト・ミニ実技テスト	〃
第16回	シアターJAZZ応用　自己分析　①自分を正しく知る　目標設定	
第17回	シアターJAZZ応用　自己分析　②発表	千回レポート提出
第18回	シアターJAZZ応用　表現　③キャラクターダンスⅠ　かわいい系	
第19回	シアターJAZZ応用　表現　④キャラクターダンスⅡ　かっこいい系	
第20回	シアターJAZZ応用　表現　⑤キャラクターダンスⅢ　大人系	
第21回	シアターJAZZ応用　表現　⑥キャラクターダンスⅣ　動物系	
第22回	シアターJAZZ応用　表現　⑦キャラクターダンスⅤ　その他	
第23回	後々半まとめ　ミニテスト・ミニ実技テスト	自己分析手ポート提出　前回の自己分析と照会
第24回	シアターJAZZ応用表現まとめ　①　ソロパート　Ⅰ	
第25回	シアターJAZZ応用表現まとめ　②　ソロパート　Ⅱ	**ミニ発表**
第26回	シアターJAZZ応用表現まとめ　③　インプロ　Ⅰ	
第27回	シアターJAZZ応用表現まとめ　④インプロ　Ⅱ	**ミニ発表**
第28回	シアターJAZZ応用表現まとめ　⑤アクティングダンスⅠ	
第29回	シアターJAZZ応用表現まとめ　⑥アクティングダンスⅡ	**ミニ発表**
第30回	後期まとめ　ミニテスト・ミニ実技テスト	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	タップダンス		
講義コード	J106		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	坂井田　晃司		

意義と目的

タップダンスを学び各ステージに対応できる人材の育成。音と一体化する事でリズムの大切さを深く認識させる。

到達目標

基本ステップを習得することがきでる。実践に役立つ応用の入り口までを身に付けることができる。

方法

基礎ステップの練習、実技指導。

評価方法

実技（７０%）　授業態度（30%）

留意事項

タップは未経験の者が多く、興味も少ないジャンルでありますが習得すれば他の者が持ちえない特技となります。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	タップ基礎ステップの説明	タップシューズ準備
第2回	タップ基礎ステップの実践　反復練習	それまでに学んだステップ等の復習
第3回	タップ基礎ステップの実践　反復練習	それまでに学んだステップ等の復習
第4回	リズムトレーニングによる精度の向上	それまでに学んだステップ等の復習
第5回	リズムトレーニングによる精度の向上	それまでに学んだステップ等の復習
第6回	コンビネーション　入門レベル振り付け	それまでに学んだステップ等の復習
第7回	コンビネーション　入門レベル振り付け	それまでに学んだステップ等の復習
第8回	コンビネーション　入門レベル振り付け	それまでに学んだステップ等の復習
第9回	タップの歴史、スタイルの違いを学ぶ	それまでに学んだステップ等の復習
第10回	タップの歴史、スタイルの違いを学ぶ	それまでに学んだステップ等の復習
第11回	ミュージカル向けステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第12回	ミュージカル向けステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第13回	ミュージカル向けステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第14回	ミュージカル向けステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第15回	これまで学習したステップのまとめ	それまでに学んだステップ等の復習
第16回	中級レベルステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第17回	中級レベルステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第18回	中級レベルステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第19回	リズムタップの歴史　説明	それまでに学んだステップ等の復習
第20回	リズムタップステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第21回	リズムタップステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第22回	リズムタップステップ	それまでに学んだステップ等の復習
第23回	リズムタップコンビネーション	それまでに学んだステップ等の復習
第24回	リズムタップコンビネーション	それまでに学んだステップ等の復習
第25回	リズムタップコンビネーション	それまでに学んだステップ等の復習
第26回	インプロビゼイションとアドリブの違いを学ぶ	それまでに学んだステップ等の復習
第27回	アドリブに挑戦	それまでに学んだステップ等の復習
第28回	アドリブに挑戦	それまでに学んだステップ等の復習
第29回	ビジネスにおけるタップダンスの在り方の考察	それまでに学んだステップ等の復習
第30回	ビジネスにおけるタップダンスの在り方の考察	それまでに学んだステップ等の復習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	バレエの基礎Ⅰ		
講義コード	J107		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	越智　久美子		

意義と目的

ロシアワガノワメゾットによる基礎を学び、柔軟性を高めインナーマッスル（コア）を自然に整え、バランス感覚を養いダンサーとしての体づくりを学ぶ。

到達目標

クラシックバレエの正しい基礎を身に付けることができる。

方法

柔軟性の向上を課題に授業を行う。関節の可動域と合わせ、正確性を課題に行う。基本的ポジションを身に付け体幹表現を行うために必要な各自の課題を見つける。

評価方法

中間試験　５０％　期末試験　５０％

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	柔軟性の向上を課題に授業を行う	授業内容の復習
第2回	〃	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	〃	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	〃	〃
第10回	〃	〃
第11回	関節の可動域を合わせて正確性を課題に行う	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	〃	〃
第16回	〃	〃
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	〃	〃
第21回	基本的ポジションを身につけ、体感表現を行う為に必要な各自の課題をみつける。	〃
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	〃	〃
第26回	〃	〃
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	〃	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	バレエの基礎Ⅱ		
講義コード	J108		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	越智　久美子		

意義と目的

クラシックバレエの基本的なポジションを学ぶことによりインナーマッスル（コア）と自然に整えバランス感覚を養い正しい姿勢を持参し基本体力の向上を図る。

到達目標

クラシックバレエに限らず、全てのダンスパフォーミングアーツに共通して必要な基礎体力を身に付けることができる。正しく美しい技術を身に付け自由な動きを行うことができる。

方法

より美しく見せる姿勢を研究する。動きのダイナミックさを強調する。なめらかな動きを研究する。

評価方法

中間試験　５０％　期末試験　５０％

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	より美しく見せる姿勢を研究する	授業内容の復習
第2回	〃	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	〃	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	〃	〃
第10回	〃	〃
第11回	動きのダイナミックさを強調	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	〃	〃
第16回	〃	〃
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	〃	〃
第21回	なめらかな動きを研究する	〃
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	〃	〃
第26回	〃	〃
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	〃	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ミュージカル演習		
講義コード	J109		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	夏目　久子		

意義と目的

声を使って表現する音楽という芸術を声で感じ、芸術の表現を深く学ぶ

到達目標

正しい発声方法や読譜力など音楽の基礎を修得し、ミュージカルの楽しさを体感することができる。

方法

音楽の基礎となる発声方法、楽譜の読み方を繰り返し学び、徐々に高度な楽曲に進む

評価方法

実技テスト及び課題（８０％）　授業態度（２０％）

留意事項

音楽は音を楽しむと書く通り、楽しむ気持ちで集中して授業を受けてほしい

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

標準版コールユーブンゲン（全音楽譜出版社）　　コンコーネ５０番・中声用（全音楽譜出版社）

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	四季をテーマにした楽曲を中心に選び、正しい発声方法や読譜力を学び	復習
第2回	四季をテーマにした楽曲を中心に選び、正しい発声方法や読譜力を学び	復習
第3回	四季をテーマにした楽曲を中心に選び、正しい発声方法や読譜力を学び	復習
第4回	四季をテーマにした楽曲を中心に選び、正しい発声方法や読譜力を学び	復習
第5回	四季をテーマにした楽曲を中心に選び、正しい発声方法や読譜力を学び	復習
第6回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第7回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第8回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第9回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第10回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第11回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第12回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第13回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第14回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第15回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第16回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第17回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第18回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第19回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第20回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第21回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第22回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第23回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第24回	ミュージカルの代表的な楽曲を含め、発声法に注意をしながら楽しく歌う	復習
第25回	学園歌を含め、いろいろな楽曲を歌ってみる	復習
第26回	学園歌を含め、いろいろな楽曲を歌ってみる	復習
第27回	学園歌を含め、いろいろな楽曲を歌ってみる	復習
第28回	学園歌を含め、いろいろな楽曲を歌ってみる	復習
第29回	課題曲により実技テスト	復習
第30回	まとめ	復習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ジャズヒップホップⅠ		
講義コード	J110		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	今井　沙也香		

意義と目的

JAZZの基礎、アイソレーション、HIPHOPのリズム感を習得し、表現力、魅せ方、オリジナルダンスを生み出す。発想力や想像力を豊かにし、作品を作り上げる力を身に付ける。

到達目標

ステージで観客に伝わる表現力や技術、パフォーマンスを身に付けることができる。

方法

実践の中で技術、テクニック、リズム感を学びます。

評価方法

小テスト　６０％　授業態度　２０％　実践の理解度　２０％

留意事項

体調管理を万全にし、遅刻や欠席をしないようにしてください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第2回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第3回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第4回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第5回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第6回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第7回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第8回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第9回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第10回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第11回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第12回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第13回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第14回	作品作り。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第15回	作品作り、オーディション対策を行う。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第16回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第17回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第18回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第19回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第20回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第21回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第22回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第23回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第24回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第25回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第26回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第27回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第28回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第29回	作品作り。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第30回	作品作り、オーディション対策を行う。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ストリートダンスⅠ		
講義コード	J111		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	山田　染香		

意義と目的

ヒップホップの基本、リズム取り、アイソレーション、パフォーマンスに不可欠な表現力やテクニックを学ぶ。

到達目標

ヒップホップの基本テクニックを身に付け、ステージで発揮するための表現力を身に付けることができる。

方法

実践で反復練習することで基本ステップとその応用、独特なリズムやグループ感を身に付けれる様、ていねいに指導する。

評価方法

小テスト（６０％）　実践の理解度（２０％）　授業態度（２０％）

留意事項

体調管理を万全にし、集中して受講してください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ヒップホップダンスの知識を深める	関連：ヒップホップに関する資料を調べる
第2回	90年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第3回	90年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第4回	90年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第5回	２０００年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第6回	２０００年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第7回	２０００年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第8回	２０００年代基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第9回	ルーティーンで基本ステップの実践と流れを身に付ける。	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第10回	ルーティーンで基本ステップの実践と流れを身に付ける。	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第11回	ルーティーンで基本ステップの実践と流れを身に付ける。	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第12回	グループでの作品発表実践。	事前：反復練習、発表準備。
第13回	ルーティーンで基本のステップの実践と流れを身に付ける。	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第14回	ルーティーンで基本のステップの実践と流れを身に付ける。	事後：反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第15回	グループでの作品発表実践。	事前：反復練習、発表準備
第16回	課題曲でのコレオ発表（ソロ）	事前：振り付け、練習
第17回	課題曲でのコレオ発表（ソロ）	事前：振り付け、練習
第18回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習を行い更なる習得を目指す
第19回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習を行い更なる習得を目指す
第20回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第21回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第22回	ルーティーンで基本ステップの実演。	事後：反復練習
第23回	ルーティーンで基本ステップの実演。	事後：反復練習
第24回	ルーティーンで基本ステップの実演。	事後：反復練習
第25回	グループでの振り付け、構成の実践。発表。	事後：反復練習
第26回	グループでの振り付け、構成の実演。	事後：反復練習
第27回	グループでの振り付け、構成の実演。	事後：反復練習
第28回	グループでの振り付け、構成の実演。	事前：発表準備
第29回	総復習	事後：反復練習
第30回	総復習	事後：反復練習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	フリースタイル		
講義コード	J112		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	江原　眞由美		

意義と目的

ダンスに必要な基本的な技術と表現力を磨き、オーディションや様々なダンスシーンにおいて対応できるよう、自分自身の得意・不得意を理解し、それぞれを伸ばしていく事。

到達目標

①柔軟性を身に付け、身体の可動域を広くすることができる。
②ダンスに必要な抑揚を身に付けることができる。

方法

全て実技にて行う。30秒～1分程度の振り付けをゆっくりと指導する。指導した内容を小テスト形式にて１人ずつ行う。

評価方法

授業態度（５０%）　小テスト（３０%）　製作課題（２０%）

留意事項

技術や表現力は日々の積み重ねにより習得できるものである為、焦らず１つ１つとしっかり時間をかけて向きあってほしい。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	柔軟と邦楽に合わせての振り付け（スローJAZZ）	事後：振り付けをしっかり覚えておく事
第2回	〃	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	柔軟とまとめ	事前：覚えた振り付けを全て通してできるように確認をする
第6回	柔軟と洋楽に合わせての振り付け（アップテンポ）	事後：振り付けをしっかり覚えておく事
第7回	柔軟と洋楽に合わせての振り付け（アップテンポ）	〃
第8回	柔軟と洋楽に合わせての振り付け（アップテンポ）	〃
第9回	柔軟と洋楽に合わせての振り付け（アップテンポ）	〃
第10回	柔軟とまとめ	事前：覚えた振り付けを全て通してできるように確認をする
第11回	柔軟と洋楽に合わせての振り付け（シアターJAZZ）	事後：振り付けをしっかり覚えておく事
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	柔軟とまとめ	事前：覚えた振り付けを全て通してできるように確認をする
第16回	柔軟と邦楽に合わせての振り付け（スローJAZZ）	事後：振り付けをしっかり覚えておく事
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	柔軟とまとめ	事前：覚えた振り付けを全て通してできるように確認をする
第21回	柔軟と邦楽に合わせての振り付け（スローJAZZ）	事後：振り付けをしっかり覚えておく事
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	柔軟とまとめ	事前：覚えた振り付けを全て通してできるように確認をする
第26回	柔軟と洋楽に合わせての振り付け（アップテンポ）	事後：振り付けをしっかり覚えておく事
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	柔軟とまとめ	事前：覚えた振り付けを全て通してできるように確認をする

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と倫理		
講義コード	J113		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

パフォーマンスの向上に不可欠な集中力やモチベーション維持など、精神面の強化を図る。みんなで協力する場面で、責任感や協調性を習得する。舞台マナーを習得する。

到達目標

パフォーマンスの完成度を上げる工夫をし、みんなで力を合わせて作品をつくりをすることができる。オリジナリティーあふれるパフォーマンスを発表することができる。人々に信頼される行動を取ることができる。

方法

学内外で行われる発表の場を大切にする。お互いに協力してそれぞれの役割を果たす。ホスピタリティあふれる行動を取る。

評価方法

授業態度　70%　レポート課題　30%

留意事項

自主性を発揮して、積極的にいろいろな役割に挑戦する。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	自分の身体的特性を把握し、ダンスのパフォーマンス向上を図る方法を模索する	常にダンスと向き合い自主練習を怠らない
第2回	自分の身体的特性を把握し、ダンスのパフォーマンス向上を図る方法を模索する	常にダンスと向き合い自主練習を怠らない
第3回	自分の身体的特性を把握し、ダンスのパフォーマンス向上を図る方法を模索する	常にダンスと向き合い自主練習を怠らない
第4回	自分の身体的特性を把握し、ダンスのパフォーマンス向上を図る方法を模索する	常にダンスと向き合い自主練習を怠らない
第5回	身体的特性を考えた活動メニューを作成し、合理的に実践を図る	活動内容を記録する
第6回	身体的特性を考えた活動メニューを作成し、合理的に実践を図る	活動内容を記録する
第7回	身体的特性を考えた活動メニューを作成し、合理的に実践を図る	活動内容を記録する
第8回	身体的特性を考えた活動メニューを作成し、合理的に実践を図る	活動内容を記録する
第9回	ダンスパフォーマンス向上を図るための機能改善トレーニングを実践する	トレーニングメニューを作る
第10回	ダンスパフォーマンス向上を図るための機能改善トレーニングを実践する	トレーニングメニューを作る
第11回	ダンス作品を通してテーマパークなどのダンサーにはホスピタリティあふれる行動が必要であることを理解する。	ホスピタリティについてまとめる
第12回	ダンス作品を通してテーマパークなどのダンサーにはホスピタリティあふれる行動が必要であることを理解する。	ホスピタリティについてまとめる
第13回	オーディションに向け、各自の課題を克服する練習方法を実践する	オーディションの心構えをまとめる
第14回	オーディションに向け、各自の課題を克服する練習方法を実践する	オーディションの心構えをまとめる
第15回	オーディションに向け、各自の課題を克服する練習方法を実践する	オーディションの心構えをまとめる
第16回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第17回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第18回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第19回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第20回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第21回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第22回	作品づくりから発表の場に向け、成功するためのダイナミックなプロセスを考える	オーディションの心構えをまとめる
第23回	ダンスパフォーマンス向上を図るための機能改善トレーニングを実践する	トレーニングメニューを作る
第24回	ダンスパフォーマンス向上を図るための機能改善トレーニングを実践する	トレーニングメニューを作る
第25回	いろいろなイベントに向け、効果的な演出方法を考えた作品づくりに挑戦する	予習、復習を行う
第26回	いろいろなイベントに向け、効果的な演出方法を考えた作品づくりに挑戦する	予習、復習を行う
第27回	いろいろなイベントに向け、効果的な演出方法を考えた作品づくりに挑戦する	予習、復習を行う
第28回	いろいろなイベントに向け、効果的な演出方法を考えた作品づくりに挑戦する	予習、復習を行う
第29回	いろいろなイベントに向け、効果的な演出方法を考えた作品づくりに挑戦する	予習、復習を行う
第30回	いろいろなイベントに向け、効果的な演出方法を考えた作品づくりに挑戦する	予習、復習を行う

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英会話		
講義コード	J114		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

This is a practical English class aimed at improving students speaking and listening skills through pairwork practice and discussion, in addition to developing fundamental writing skills

到達目標

The goal is to develop skills in basic conversation, by providing language models that are used in everyday conversation and discussion.

方法

Activating students' use of English through a variety of tasks performed in an interactive, communicative environment.

評価方法

Exams 50%　Quiz 30%　Homework 10%　Participation 10%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

Textbook: American Headway Starter
Author: Liz & John Soars
Oxford University Press
ISBN: 978-0-19-435387-8

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Introductions: Getting to know you	
第2回	Self-Introductions	
第3回	Reading and speaking/ everyday English	
第4回	Reading and speaking/ everyday English part 2	
第5回	My Hometown	
第6回	Shopping expressions	
第7回	The Market place	
第8回	Quiz # 1	
第9回	Family Talk	
第10回	Hobbies and Interests	
第11回	Traveling Abroad	
第12回	Traveling Part II	
第13回	Video: Greetings & basic expressions	
第14回	Pair work conversation practice	
第15回	Exam: Paired conversation	
第16回	My summer vacation	
第17回	Being famous	
第18回	Reading and speaking/ Everyday English	
第19回	Describing things	
第20回	Describing people	
第21回	Dates, times and schedules	
第22回	My daily routine	
第23回	Prepositions of place	
第24回	Quiz #2	
第25回	Giving and asking for directions	
第26回	Entertainment	
第27回	My Future Dreams	
第28回	Video: short conversation analysis	
第29回	Pair work conversation practice	
第30回	Exam: Paired conversation	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	キャリアデザイン		
講義コード	J115		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	堀井　厚		

意義と目的

自己分析・社会研究を行い、自身の価値観を確立して卒業後の生き方や働き方をプランニングし、有意義な大学生活を送ることを目的とします。併せて就職試験対策を行ないます。

到達目標

２０１８年１月迄に「卒業後に希望する進路」を決定し、就職試験に臨む準備が整っていること 及び 本授業で設定した標準レベル就職能力テストに合格することを目標とします。

方法

オリジナルのテキストに準拠して授業を進行します。毎回予習すべき箇所の解説を行い、小テストでその成果を確認します。理解できるまでテストを繰り返します。

評価方法

前後期期末試験　50%
ＳＰＩ対策小テスト　30%
課題提出物　10%
授業態度　10%

留意事項

できなかった事をとがめるつもりはありませんが、やらなかった事についてはペナルティを課し、評価に反映させます。地道な毎日の積み重ねが大切です。

教科書

ＮＦＣＣ　キャリアデザイン＆就職活動２０１９

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	キャリアデザインとは 授業の進め方 進路選択の手順	ＳＰＩ課題処理
第2回	アセスメントツールによる自己分析 一般職業適性検査	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第3回	自己分析 自己の振り返り 観察	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第4回	求める人物像（社会・企業） 社会人基礎力 個性との適合	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第5回	雇用形態 景気動向 人口問題（日本の少子高齢化）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第6回	心理学と社会 法学と社会 経済学と社会	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第7回	業種・業界研究 キャリアインサイト	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第8回	ビジネスマナー	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第9回	言葉遣い	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第10回	会社の仕組み 給与・年収・生涯収入・生涯支出	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第11回	社会保険の基礎知識	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第12回	マーケティング 損益計算	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第13回	志望動機 自己ＰＲ	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第14回	履歴書 エントリーシート	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第15回	前期の総括	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第16回	就職試験の仕組み 就職試験の動向と対策（総論）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第17回	思考テスト・ＩＱテスト対策	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第18回	性格適性検査対策 ＳＰＩ・ＣＡＢ・ＧＡＢ・ＹＧテスト・クレペリン・・・	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第19回	ＳＰＩ性格適性試験模擬試験	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第20回	内定者講演会	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第21回	論作文対策	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第22回	敬称 手紙・電子メール・電話のマナー	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第23回	求人票の見方 給与の手取り額の計算	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第24回	リクルート活動の身だしなみ 就職活動メイクアップ講座	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第25回	面接対策	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第26回	学内企業展	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第27回	ＳＰＩ模擬試験（言語問題）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第28回	ＳＰＩ模擬試験（非言語問題）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第29回	ＣＡＢ模擬試験	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第30回	後期総括	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ヴォーカル基礎		
講義コード	J201		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	佐野　文彦		

意義と目的

総合芸術における歌唱の完成は大変重要である。
ヴォーカルの基礎、各自の歌唱技術・表現力の習得を目的とする。

到達目標

歌唱技術向上と表現力豊かなパフォーマンスを身につけることができる。

方法

１人１人の声に合わせた発声をさせ、様々な曲を歌い表現させる。

評価方法

歌唱表現　　70%
授業態度　　30%

留意事項

毎回復習することにより、自己の技術の定着が確実となるので、次の授業までに必ず復習・練習をすること。

教科書

書名1 標準版　コーリューブンゲン(全曲)　著書名　フランツ・ヴェルナー　出版社　全音楽譜出版社 書名2　コンコーネ５０番中声用　著書名　コンコーネ　出版社　全音楽譜出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	呼吸法　：　体の使い方	事後　：　呼吸法の復習
第2回	呼吸法　：　発声との関連	事後　：　呼吸法の復習
第3回	発声法 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　発声法の復習
第4回	楽曲歌唱 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第5回	楽曲歌唱 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第6回	楽曲歌唱 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第7回	楽曲歌唱 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第8回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第9回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第10回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第11回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第12回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第13回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第14回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習
第15回	楽曲の解釈・表現 コーリューブンゲン、コンコーネ歌唱	事後　：　歌唱の復習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	創造性の開発		
講義コード	J202		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	太田　寿江		

意義と目的

いつも見慣れているモノから新しい見方や美を発見し、既成概念に捉われない発想力や多面的なモノの見方を養う。さらに異なる価値観の理解力を養う。

到達目標

・多面的なモノの見方ができる。・作品として表現できる。・他者の異なる見方を理解できる。

方法

一つのキーワードから様々な発想をし、主にマップ制作を通して表現する。さらに他者の作品から感じることを話し合い、多様な見方があることを体験的に習得する。

評価方法

作品及びプレゼンテーション（７０％）、ポートフォリオ等（２０％）、授業態度（１０％）

留意事項

身のまわりのモノを常に意識し、創造力を高め、柔軟な頭を創ってほしい。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	既成概念の自覚、キーワード発想、発想ノートについて	事後：マップ構想、資料収集
第2回	マップ制作（課題１）	事後：プレゼンの準備
第3回	マップ制作、プレゼンテーション	関連：資料収集
第4回	プレゼンテーション、次の課題について	事後：構想、資料収集
第5回	創造性に関する映像等	関連：構想、資料収集
第6回	マップ制作（課題２）	関連：プレゼンの準備
第7回	マップ制作、プレゼンテーション	事後：資料収集
第8回	プレゼンテーション、次の課題について	事後：構想、資料収集
第9回	色を探す（課題３）：色の変化があまりないように見えるものから多様な色を見つけ出し、デザインする。	関連：構想、資料収集
第10回	創造性に関する映像等、最終課題について	関連：構想、資料収集
第11回	最終課題：ダンボールを主材料としてイメージを発想し、マップ等の作品を制作する	事後：構想、資料収集
第12回	ダンボールからの発想、発想ノートの作成	関連：構想、資料収集
第13回	ダンボールからの発想、発想ノートの作成	事前：資料収集、プレゼンの準備
第14回	最終作品プレゼンテーション	事後：これまでの作品を振り返る
第15回	最終作品プレゼンテーション、創造性を考える	事前：創造性について考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	異文化の理解		
講義コード	J203		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉村　いづみ		

意義と目的

ポートランド語学研修参加者を対象として、アメリカの生活や文化に関する基礎知識や二週間の滞在に必要な英語表現を学ぶ。

到達目標

アメリカの文化や生活習慣を理解していること。アメリカで生活できる基礎的な英語表現を習得していること。

方法

講義と英語演習を行う。テキストに書き入れながら、授業を受け、使えそうな表現は別のノートか単語カードに記入し、ポートランドに持参してほしい。

評価方法

小テスト20%。定期試験40%。レポート40%。

留意事項

この授業は夏に開催される「ポートランド語学研修」に参加する学生を対象としています。研修に参加しないと単位が取得できません。

教科書

異文化の理解　テキスト＆留学ハンドブック

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	イントロダクション	**アメリカとはどのような国か？まとめておこう**
第2回	出国、機内、入国審査	ESTAやパスポートの取得計画を立てよう
第3回	両替、ドル、ATMの利用	クレジットカードを取得するか、現金を持参するか考えておこう
第4回	**英文の手紙の書き方**	実際にいくつかのパラグラフを作って、自分を表現する英語を覚えよう。
第5回	電話をする。道を尋ねる	外国人に道を聞かれても、答えられるようになろう。
第6回	ホストファミリー宅（基本ルール）	ホストファミリーで使える英語を整理しておこう
第7回	ホストファミリー宅（生活一般）	ホストファミリーで使える英語を整理しておこう
第8回	体調不良、病気に関する表現	**自分が体調不良時に使える英語を整理しておこう**
第9回	日本について話す/日本料理の作り方を説明する	日本について聞かれる質問を考え、英語で答えてみよう
第10回	バス、電車の乗り方	ポートランドの交通手段を調べておこう。
第11回	ファストフードとレストラン	アメリカのファストフードのメニューをインターネットでチェックしておこう。
第12回	英語で楽しくショッピング	ポートランドのダウンタウンにある店をインターネットでチェックしておこう。
第13回	PSUの授業、英語のジェスチャーとあいづち	PSUについて調べておこう。
第14回	郵便の送り方、帰国前日の準備	学んだ英語を覚えておこう。
第15回	**出発前の最終説明**	学んだこと、これから出発前までに準備することをまとめておこう

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅠ		
講義コード	J204		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

The aim is to provide a foundation of English Language skills in Reading, Writing, Listening and Speaking, in order to best prepare students for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

到達目標

The goal of this class is for students to develop good study habits in order to improve basic listening, speaking, reading and writing skills.

方法

Students will be required to work diligently in order to create a positive and energetic classroom

評価方法

Quizzes 40%　Final test 40%　Homework 20%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

Textbook: English Firsthand 1 (The New English Firsthand Series)
Author: Marc Helgesen et al
Publisher: Pearson Longman
ISBN 978-988-00-3059-8

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Personal Information: Self Introduction	
第2回	Describing People: My Family & friends	
第3回	Daily Activities and Routines	
第4回	Prepositions of Place	
第5回	Giving and asking for directions	
第6回	Talking about the past: what happened?	
第7回	Quiz#1	
第8回	Jobs and Occupations	
第9回	Entertainment (movies, music, plays etc...)	
第10回	Future plans: What are your dreams?	
第11回	Shopping expressions: How much is this?	
第12回	Processes: Giving instructions	
第13回	Video: Common greetings and expressions	
第14回	Preparation for final exam (TOEFL listening practice)	
第15回	Final Listening exam (TOEFL-based)	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅠ		
講義コード	J205		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

To develop and increase the overall English language level of the student in arder to prepare for the Test of English for International Communication(TOEIC)

到達目標

To learn how to communicate in English in a wide variety of situations and build confidence in using conversation English while also increasing vocabulary,grammus.

方法

By learning English from atextbook and using the English in presentations,group conversations and speaking,listening,reading exereises and tasks.

評価方法

Presentations-50% Eeports-30% class work-10% Quizzes-10%

留意事項

Presentations in English help build confidense while using English, but will aiso be aimed towards learning English,but will also be aimed towards learning Englis in a fun, useful and interesting way.

教科書

書名1 Intercchange students book1 著書名　Jack C.Richards 出版社　Jack C.Richards 書名2　Intechange CLASS AUDIO CD 1 (ONE)　著書名　Jack C.Richards　出版社　Cambridge

参考文献

Assorted media/TOEIC SHEETS (SUPPLIED By TEACHER)

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Introduce yourself,talk abouto yourself and greethings. Learning basic introductions in English.	Review:write a self introduction.
第2回	learning haw to talk about your daily schedule,school and going opinions.	Preparation:prepare for an English Dresentation introducing yourself.
第3回	Shopping in English and discussing Preferences.	Review:write about your preferences and shopping.
第4回	Discussing likes and dislikes.	Preparation:Hake a speech of your likes and dislikes.
第5回	Talking in English about family and family life.	Review:write about your family.
第6回	Asking and discussing hobbies and routines.	Review:write about your hobbies and routines.
第7回	Talking about past experiences,vacations and Childhood.	Review:write about a childhood memory lexperience.
第8回	Asking about and talking about different locations.	Preparation:Make a Presentation about your hometown.
第9回	Describing peoples appearences.	Review:Describe someones appearance.
第10回	Discussing Past events.	Review:Describe someones appearance.
第11回	Discussing Cities and Places/countries.	Review:write about somewhere you want to go to.
第12回	Talking about health Problems and giving advice.	Review:write a letter of advice.
第13回	How to order food in a restaurant.	Review: write a restaurant review.
第14回	Expressing opinions in English and making Comparisons.	Preparation:Make a Presentation talking about your opinions.
第15回	Talking about future Plans and future wishes and hopes.	Preparation: make a presentation discussing your hopes for the future.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅠ		
講義コード	J206		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

To develop and use English to a level of daily fluency.and to prepare for the IELTS examination.

到達目標

To become fully able to communicate confidently in daily conversational English in a wide uariety of situations.

方法

Learning English conversation through the use of a textbook,presentations and class work.

評価方法

presentaion:! 50% Reports:40% Classwork:10%

留意事項

Students will be able to speak English confidently,while also understanding English in a comprehensive way.

教科書

書名1 Interchange students book1 著書名　Jack C.Richards 出版社　Jack C.Richards 書名2　Intechange CLASS AUDIO CD 1 (ONE)　著書名　Jack C.Richards　出版社　Jack C.Richards

参考文献

ＩＥＬＴＳ ｍａｔｅｒｉａｌ ｗｉｌｌ ｂｅ ｓｕｐｐｌｉｅｄ ｂｙ ｔｈｅ ｔｅａｃｈｅｒ.

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Learning hou to exchange personal information and introducing yourself to others.	Preparetion:Give a presentation introducing yourself.
第2回	Learning hou to talk about school and work.	Review:write about your daily schedule.
第3回	Learning how to discuss buying and selling things,asking questions about items.	Review:write about something you want to buy.
第4回	learning how to talk about interests,making invitations.	Presentation:make a presentation on your likes and dislikes.
第5回	Learning how to exchange information about the present.	Review: Writing about stay at home dads(reading from exercise book)
第6回	Learning how to discuss frequency and ability.	Presentation:make a presentation taking about your favorite activities.
第7回	Learning how to talk about opinions and past experiences.	Review: Write about a vacation you took recently.
第8回	Learning how to ask questions and details about areas.	Presentation:make a presentation taking about your ideal place.
第9回	Leaning how to ask and give details about descriptions.	Review:Describe yourself.
第10回	Learning how to ask and answer questions about pastexperiences.	Review:Write about an amazing experience you had.
第11回	Learning to talk about world geography and asking for suggestions.	review:Write recommendations about Nagoya city.
第12回	Leaning how to make requests and how to discuss medical issues.	Presentation:In paris students make a doctor and patient presentation.
第13回	Learning how to express likes and dislikes,agreeing and disagreaing.	Review:Nake a restaurant menu using your likes and dislikes.
第14回	Learning how to express opinions and facts.	Review:Write an opinion article.
第15回	Learning how to discuss future plans.	Presentation:Make a presentation discussing your plans for next year.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅰ		
講義コード	J207		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　祥子		

意義と目的

実社会で必要となる情報処理技術を習得する。パソコンその他の情報機器の操作法をやワープロソフトに習熟し、事務文書や視覚効果のある文書など様々な文書作成能力を養う。

到達目標

日本情報処理検定協会の日本語ワープロ検定2級以上の技術の獲得。応用的文書が作成できる。

方法

教室の機器およびMicrosoft Wordを利用し実習する。タイピング練習ソフトを使用する。

評価方法

確認テスト（実技検定問題）40%
授業態度30%
課題作成20%
提出物10%

留意事項

タイピングは、一度に多くの時間をかけるのでなく、ソフトウェアを利用し、少しづつ、回数を多く自習してください。教室や自宅で練習できます。

教科書

日本語ワープロ検定試験模擬問題集2級・準2級（日本情報処理検定協会）

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	教室の機器の操作法、日本語入力	テキストの速度問題入力練習
第2回	TypeQuickによる入力練習、日本語入力（以後も随時）	TypeQuickによる入力練習
第3回	通信文レイアウトの説明。３級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第4回	表の作成。準２級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第5回	２級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第6回	２級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第7回	模擬問題集による通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第8回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第9回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第10回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第11回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第12回	確認テスト（検定試験を兼ねる）	確認テスト自己採点、重点練習
第13回	応用的文書の作成	課題作成
第14回	応用的文書の作成	課題作成
第15回	応用的文書の作成	課題作成

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	プレゼンテーション		
講義コード	J251		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	１時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	早川　敦子		

意義と目的

日本の学校教育では自分の意見をまとめて人前で発表したり、考えを上手に伝達するスピーチ能力を磨く機会が少ない。この授業では人を惹きつけるための「話す技術」を身につける。

到達目標

人前で自信を持って話すことができる。敬語を正しく使うことができる。
パワーポイントなどの機器を利用した発表ができる。

方法

人前で話すときのポイントを押さえた上でプレゼンテーションを実践。ビデオ撮影した自身の姿を客観的にチェックし、人前で話す技術を向上させる。

評価方法

プレゼンテーション50%
授業態度50%

留意事項

成績評価は授業内で行うプレゼンテーションを対象とします。発表時には休まないようにしてください。人前に立つのにふさわしい態度を身につけるため、日ごろから言葉遣いに気をつけ、姿勢を正して授業に臨んでください。発声、滑舌練習、発表前の練習は各自行ってください。

教科書

参考文献

世界を動かすプレゼン力　ニック・バーリー著　佐久間裕美子訳
ＮＨＫ出版

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	授業概要説明	
第2回	自己ＰＲ①	自己ＰＲの内容を考える
第3回	自己ＰＲ②	発表した内容を検証し、練り直す
第4回	呼吸について	習ったことを復習し、実践する
第5回	発声、滑舌練習	習ったことを復習し、実践する
第6回	モノを使ったプレゼンテーション①	発表内容を考え、準備し、練習する
第7回	モノを使ったプレゼンテーション②	発表内容を考え、準備し、練習する
第8回	緊張を味方にする方法	
第9回	敬語について	習ったことを復習し、実践する
第10回	ビブリオバトル①	発表内容を考え、準備し、練習する
第11回	ビブリオバトル②	発表内容を考え、準備し、練習する
第12回	パワーポイントを使ったプレゼンテーション①	発表内容を考え、準備し、練習する 発表資料を作成する
第13回	パワーポイントを使ったプレゼンテーション②	発表内容を考え、準備し、練習する 発表資料を作成する
第14回	パワーポイントを使ったプレゼンテーション③	発表内容を考え、準備し、練習する 発表資料を作成する
第15回	まとめ	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生涯スポーツ論		
講義コード	J252		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17J	自習時間	60
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

健康で明るい生活を送るには生涯を通じ、スポーツ、ダンス、レクリエーションなどの身体活動を実践する習慣の重要性を理解する。またそのために必要な生活の改善点を考える。

到達目標

積極的に生涯スポーツに向けた行動変容を図ることができる。スポーツ、ダンス、レクリエーションなどの身体活動を継続的に実践することができる。家族や地域の人々とのコミュニケーションを図ることができる。

方法

継続的に身体活動を実践するには、日常生活における様々な障害が発生する。そのために身近なところから少しずつ改善するなど、無理なく身体活動の機会を増やす方法を考える。

評価方法

レポート課題　50%　授業態度　50%

留意事項

生涯スポーツの新しい概念化へと発展さえる

教科書

参考文献

スポーツ・体育・運動実践考～至適運動のすすめと生涯スポーツへの誘い～
著者　鈴木秀雄

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	生涯スポーツの概念を具体的な例を出し合い考える	体育の概念・定義を調べる
第2回	生涯スポーツの概念を具体的な例を出し合い考える	スポーツの概念・定義を調べる
第3回	生涯スポーツの概念を具体的な例を出し合い考える	レクリエーションの概念・定義を調べる
第4回	各自の置けれている環境を鑑み、地域におけるスポーツ活動とコミュニケーションの大切さを考える	身近なスポーツに関する情報を集める
第5回	各自の置けれている環境を鑑み、地域におけるスポーツ活動とコミュニケーションの大切さを考える	身近なスポーツに関する情報を集める
第6回	各自の置けれている環境を鑑み、地域におけるスポーツ活動とコミュニケーションの大切さを考える	身近なスポーツに関する情報を集める
第7回	具体的な活動例などをもとに身体活動が人間の心に及ぼす影響を考える	スポーツと心の健康について調べる
第8回	具体的な活動例などをもとに身体活動が人間の心に及ぼす影響を考える	スポーツと心の健康について調べる
第9回	具体的な活動例などをもとに身体活動が人間の心に及ぼす影響を考える	スポーツと心の健康について調べる
第10回	具体的な活動例などをもとに身体活動が身体に及ぼす影響を考える	スポーツと身体の健康について調べる
第11回	具体的な活動例などをもとに身体活動が身体に及ぼす影響を考える	スポーツと身体の健康について調べる
第12回	具体的な活動例などをもとに身体活動が身体に及ぼす影響を考える	スポーツと身体の健康について調べる
第13回	各地域の総合型地域スポーツクラブを調べ、どのように関われるかを考える	生涯スポーツとの関わり方をまとめる
第14回	生涯スポーツにつながる日常生活の過ごし方を話し合い、みんなで行動変容を模索する	生涯スポーツの楽しさをまとめる
第15回	生涯スポーツにつながる日常生活の過ごし方を話し合い、健康とは何かを考える	生涯スポーツと健康・フィットネスについてまとめる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	アクティング		
講義コード	J253		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	髙橋　早霧		

意義と目的

魅力あふれる表現者としての自己の確立を目指し、さまざまなトレーニング、ワーク等を通し、演技の基礎を学ぶことができる。

到達目標

シチュエーションや役柄に合わせた表現を自らが探求し、体現していく中で作品創りを進めることができる。最終的に１つの作品を上演（発表）することができる。

方法

ストレッチ、発声方法の指導の後、エチュード（ワーク）を行い、楽しみながら表現を学べるよう配慮しつつ進める。台本、役を私、各自自習を促す。

評価方法

実技　50%　態度　30%　レポート課題　20%

留意事項

動きやすい服装で受講し、人前で表現することを楽しもうとする姿勢を忘れずに。ダンスはほぼ含めません。大半が演技の基礎となります。発声あり。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ウォーミングアップ	
第2回	発声・発音・滑舌トレーニング	発声練習を実践する
第3回	発声・発音・滑舌トレーニング　エチュード（グループワーク）	発声練習を実践する
第4回	エチュード（グループワーク）	発声練習を実践する
第5回	台本の読解・チーム分け	事後：台本への理解を深める
第6回	台本の読解・役決め	事後：各役柄の心情を探る
第7回	エチュード（長編）　心情を込めるワーク	事前：割り当てられた役について理解を深める
第8回	エチュード（長編）　シーンの稽古（役づくり）	事前：自分の役の心情を探る
第9回	エチュード（長編）　シーンの稽古（役づくり）	事前：自分の役のポイントを見つける
第10回	ミュージカル（作品）演習	振りや台詞を確認する
第11回	ミュージカル演習	振りや台詞を確認する
第12回	ミュージカル演習	振りや台詞を確認する
第13回	ミュージカル演習（通し稽古）	事前：シーンごとのつながりも理解する。衣装も考える
第14回	ミュージカル演習（通し、ドレリハ）	事前：衣装合わせ、レポート作成
第15回	作品発表会	事前：チームごとのミーティング 事後：アクティングを振り返る

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	海外研究		
講義コード	J254		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17J	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉村　いづみ		

意義と目的

現代はグローバル社会。経済も政治も様々な国々との関わりのなかで動いている。国境を越えて人々が共生し平和な社会を築くためにはどうしたらよいのか。様々な視点から考察する。

到達目標

地理、言語、宗教、民族紛争など、基礎的な世界の常識を理解している。それらをふまえて国際情勢について、自分の意見をまとめることができる。

方法

授業開始時には、毎回「世界常識クイズ」を行い、常識度をチェックする。授業はパワーポイントやビデオなど視覚的教材を使い、わかりやすく説明する。

評価方法

小テスト20%。ノート20%。定期試験60%。

留意事項

世界の時事問題に興味を持ち、自分から調べる態度を身につけてください。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	イントロダクション	世界の国数、人口、言語などを確認しておこう。
第2回	アメリカ：人工国家、移民大国の始まり	アメリカはなぜ人工国家なのか、まとめておこう
第3回	アメリカ：新大陸発見とポカホンタスの物語	アメリカの先住民について、まとめておこう
第4回	アメリカ：WASP社会	第一次移民とはどのような人々化、まとめておこう
第5回	アメリカ：宗教国家である理由	プロテスタントの意味は？アメリカの宗教についてまとめておこう
第6回	アメリカ：黒人社会とキング牧師の公民権運動	アメリカの人種差別の歴史とキング牧師について、まとめておこう
第7回	ユダヤ系アメリカ人について	ユダヤ系アメリカ人はなぜ影響力があるのか、まとめよう
第8回	中東の地理について	中東とはどのような地域か。地図を調べておこう。
第9回	増え続けるイスラム教について	イスラム教の特徴、キリスト教、ユダヤ教との関係をまとめよう
第10回	中東の火種、イスラエルとパレスチナ	パレスチナ問題の原因を作った国はどこか、まとめよう
第11回	パレスチナ問題の現在	中東戦争とその後について、まとめておこう。
第12回	ヨーロッパ：地理的特徴と生活文化	ヨーロッパの地図を埋めながら、様々な国の位置を記憶しよう。
第13回	ヨーロッパ：西欧社会とEUの現実	EUの成立背景、現在のEUが抱えている問題をまとめておこう。
第14回	ヨーロッパ：東欧とEU圏の拡大	東欧と西欧の違い。東欧の現在の動きを調べておこう
第15回	アジアの中の日本	日本が行える国際貢献とはなんだろう。まとめておこう。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅡ		
講義コード	J255		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

The aim is to provide a foundation of English Language skills in Reading, Writing, Listening and Speaking, in order to best prepare students for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

到達目標

The goal of this class is for students to continue their development in building basic listening, speaking, reading and writing skills.

方法

Students will be required to work diligently in order to create a positive and energetic classroom

評価方法

Quizzes 60%　Final test 30%　Homework 10%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

World Link Intro: Developing English Fluency 1st Edition
Author: Susan Stempleski, Nancy Douglas, James R. Morgan
Publisher: Cengage
ISBN-13: 978-0838406618
ISBN-10: 0838406610

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	My Summer Holiday	
第2回	Short Presentation (summer holiday)	
第3回	Video 1: shopping transactions at a store	
第4回	My experience (resume'/CV writing)	
第5回	Pick a country	
第6回	Quiz#1: Foreign country short presentation	
第7回	My hero	
第8回	Describing people	
第9回	Video 2: comprehension practice	
第10回	Dates to remember (Time expressions)	
第11回	Quiz #2: Listening comprehension and vocabulary	
第12回	Season's Greetings: Holidays around the world	
第13回	Final Exam preparation	
第14回	Quiz #3: Short Interview	
第15回	Final Exam: Listening and vocabulary comprehension	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅡ		
講義コード	J256		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

The aim of this class is to continue developing the students level of English conuersation from elementary to intermediate.

到達目標

The goal of this class is to have the student reach a deaper understanding of English in daiy comuersation by using a wide range of topics and speaking assignments.

方法

During the course we will be utilizing an intermediate textbook,group and individual presentations,listening and speaking tasks to impreoe the level of English.

評価方法

Presentations-50% Reports-30% Classwaork-10% Quizzes-10%

留意事項

This course is designed to lncrease the students wuoy English in anatural.confident manner,but also academically also.

教科書

書名1 Interchange students book2 著書名　Jack C. Richards 出版社　Cambridge 書名2　Interchange Class audio CDs 2 (TWO)　著書名　Jack C. Richards　出版社　Cambridge

参考文献

newspapers articles/TOEIC TESTSHEETS SUPPLIED By TEACNEOZ magazine articles

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Talking about personal past experiences and childmood events.	Review-written assicinment about childhood.
第2回	Leanwing how to discuss public transportation,how to use,transportaion in the city!	Review- write about a type of public transport in NAGOYA city.
第3回	Taking about living accommodation learning about comparisons and life chances.	Preparation:Prepare a presentation on ideal living accommodation.
第4回	Learning how to give introctions in English.	Review:Write instructions on how to make your favorite Japanese meal.
第5回	Learning how to describe future plans.	Preparation: Talk about your summer vacation plans and give details.
第6回	Learning how to give detailed suggestions and invitations.	Review:Write a detailed suggestion of a touristdestination.
第7回	Making complaints,requests and giving excuees.	Preparation:Group work activity.Make a short scene about excuses.
第8回	Discussing customs and special events in foreign countries.	Preparation:Write adetailed suggestion of a touristd estination.
第9回	Learning hou to discuss change. Time contarests.	Review:Compare and contrast two time periods.
第10回	Describing personality traits and personal skills.	Review:Write about your dream job.
第11回	Learning how to discuss facts.	Preparation:Group presentation present a famous artwork and discuss.
第12回	Learning how to communicate unexpected recent events.	Review:Write about your dream job.
第13回	Learning how to ask for opinions,how to give reactions.	preparation:drepare a presenattion giving your opinion on current news.
第14回	Learning and discussing non-verbal communication.	review:Write about observeo body language.
第15回	Learning how to speculate about fast and future events.	preparation:prepare for pop quiz.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅡ		
講義コード	J257		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

This course will aim to continue to increase the students level of English to intermediate conversation and underdtanding.

到達目標

By the end of the course students will be able to understand and hold intermediate conversations on a wide range of different topics and situations.

方法

This courses main focus will be to achieue an intermediate level of fluency in English by utilizing a range of tools, l e textbooks,Listeng,reading and speaking tasks.

評価方法

Presentaions-50% Reports-30% Classwork-10% Quizzes-10%

留意事項

This course is a comprehensive English class which will aid all students in achieving an academic and Practical level of intermediate English communication.

教科書

書名1 Interchange students book 2 著書名　Jack C Richards 出版社　Cambridge 書名2　Interchange class audio CD 1 two 著書名　Jack C Richards　出版社　Cambridge

参考文献

newspaper articces English worksueets (supplied by teacher)

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Discossing life in the past compared to life today.	preparation:present examples of past and present contrasts.
第2回	learning and disccssing abilities and skills.	Review:write about attributes and skills you admire.
第3回	Leaning how to discuss facts.	Preparetion:Prepare a presentation giving facts about a country.
第4回	Learning how to tell a constructive and clear story.	Review:write a story using everyday examples of English grammar.
第5回	Learning how to discuss and evoke reactions in English.	Review:Interview fellow students about events in the news.
第6回	Learning how to explain prohibited vs acceptable actions in different situantions.	Review:Write about promibited and acceptable actions in japan.
第7回	Discussing predicaments and problems in English.	Preparation:Make a presentation basedon a problem you have encountered.
第8回	Learning how to report what someone has said.	Review:Write a report of something a politicion recently said.
第9回	Leaning how to discuss recollections and memories.	prepanation:Make a presentation about your happiest memory.
第10回	Lwaning how to evaluate positives and negatives.	Review:Write a review of your own positive and negative attributers.
第11回	Learning how to give travel advice.	review:Compare and contrast the U.K/U.S.A with Japan.
第12回	Learning how to give instructions and directions.	Presentation:Prepare a presentation Giving detailed directions in Paris.
第13回	Learning how to give travel advice.	Review:Write a letter to someone giving them travel advice.
第14回	Learning how to ask for favors or how to make requests.	preparation:In groups make a short act asking for favors.
第15回	Description of everyday items in intermediate English.	Review:Write a detailed description of something you want to buy.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅱ		
講義コード	J258		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　祥子		

意義と目的

表計算ソフトを用いて実社会で必要となるデータの整理、計算、グラフ化などの情報処理技術を習得する。

到達目標

日本情報処理検定協会の情報処理検定試験（表計算）2級合格程度の技能を習得し、表計算ソフトを活用できる。

方法

検定試験問題やその他応用問題を使って、表計算ソフトの実技練習をする。

評価方法

確認テスト（実技試験）40%
授業態度30%
提出物20%
小テスト10%

留意事項

1回でも休むと追いつくのが大変です。欠席しないこと。

教科書

情報処理技能検定試験（表計算）検定対策問題集（日本情報処理検定協会）

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	表計算ソフトの概要、４級検定試験問題解説	４級問題練習
第2回	３級試験問題の解説、端数処理、表示形式、並び替え	３級問題練習
第3回	３級試験問題の解説、端数処理、表示形式、並び替え	３級問題練習
第4回	判断文、多重判断文、絶対参照	３級問題練習
第5回	準２級検定試験問題の解説と演習	準２級問題練習
第6回	準２級検定試験問題の解説と演習	準２級問題練習
第7回	準２級検定試験問題の解説と演習	準２級問題練習
第8回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第9回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第10回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第11回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第12回	確認テスト（検定試験を兼ねる）	確認テスト自己採点
第13回	複数シートの操作・データベース機能の解説と演習	データベース機能の練習
第14回	データベース機能の解説と演習	データベース機能の練習
第15回	データベース機能の応用	データベース機能の練習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	J301		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	J302		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	J303		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	文化とコミュニケーションⅠ		
講義コード	J304		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	文化とコミュニケーションⅡ		
講義コード	J305		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	J351		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	J352		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	J353		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	インターンシップⅠ		
講義コード	J354		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

実際にダンスのレッスンや作品を作り上げる現場やそれぞれのダンスの楽しさを提供する場面を間近に見て、そのプロセスやポイントとなるスキルを学ぶ。

到達目標

即戦力になりうるダンサーの育成をモットーにするコースに相応しい好奇心旺盛な向学心あふれる態度になる。

方法

研修先の現状や学生の能力に合わせたスケジュールを立て、合理的に授業を展開する。

評価方法

授業態度　70%
レポート課題　30%

留意事項

現場での姿勢は、プロダンサーの一員になるという意識を前面に出すようにする。（研修内容は基本的な内容）

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	企画書作成から全体の流れをイメージする	
第2回	企画書作成から全体の流れをイメージする	
第3回	企画書作成から全体の流れをイメージする	
第4回	現場でのオリエンテーション	
第5回	現場でのオリエンテーション	
第6回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第7回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第8回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第9回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第10回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第11回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第12回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第13回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第14回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第15回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第16回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第17回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第18回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第19回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第20回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第21回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第22回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第23回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第24回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第25回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第26回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第27回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第28回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第29回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第30回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第31回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第32回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第33回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第34回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第35回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第36回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第37回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第38回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第39回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第40回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第41回	現場体験から得たものをまとめる	
第42回	現場体験から得たものをまとめる	
第43回	現場体験から得たものをまとめる	
第44回	現場体験から得たものをまとめる	
第45回	現場体験から得たものをまとめる	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	学外研究Ⅰ		
講義コード	J355		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1.00	時間	45.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

ダンスカンパニーなどのツアー公演のキャストやスタッフとして研修する。プロの厳しさを肌で感じる。

到達目標

プロのダンスに取り組む姿勢を知る。

方法

将来を見据えた体験型の授業である。

評価方法

実技課題　80%　態度　20%

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション	活動日誌で1日を振り返る
第2回	ダンスパフォーマンス等のチェック	活動日誌で1日を振り返る
第3回	ダンスパフォーマンス等のチェック	活動日誌で1日を振り返る
第4回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第5回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第6回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第7回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第8回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第9回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第10回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第11回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第12回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第13回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第14回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第15回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第16回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第17回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第18回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第19回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第20回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第21回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第22回	総合的な振り返り	活動日誌で1日を振り返る
第23回	総合的な振り返り	活動日誌で1日を振り返る

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅠ		
講義コード	J356		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅡ		
講義コード	J357		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	レクリエーション校外実習		
講義コード	J358		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1.00	時間	45.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

ホスピタリティあふれるレクリエーション支援のスキルを積極的に生かせる機会として、実習現場（フィットネスクラブ）やイベントにスタッフ参加することは、生活文化の質の向上につながる。

到達目標

自分の好みに合致したレクリエーションを発見する事ができる。フィットネス実習やイベントのスタッフなどを体験し、ホスピタリティの重要性を体感することができる。

方法

フィットネスクラブでインストラクターの仕事を体験する。レクリエーションのイベントにスタッフとして参加する。継続的にレクリエーションを実践する方法を知る。

評価方法

実習態度　80%　レポート課題　20%

留意事項

実習先のスタッフとのコミュニケーションをしっかりとり、書き留める習慣をつかる。

教科書

参考文献

レクリエーション支援の基礎（公益財団法人日本レクリエーション協会）

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第2回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第3回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第4回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第5回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第6回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第7回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第8回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第9回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第10回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第11回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第12回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第13回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第14回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第15回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第16回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第17回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第18回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第19回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第20回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第21回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第22回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第23回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	演習		
講義コード	J501		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

完成度の高いダンスパフォーマンスに不可欠な、集中力やモチベーション維持などの良好な精神状態やしなやかな身体の維持を図る。

到達目標

総合的にダンスパフォーマンスを捉えることができる。今何が不足しているかを知ることができる。自分の不足している部分を自主的に改善することができる。実際にみんなで力を合わせオリジナリティあふれる作品を創ることができる。

方法

自主的に活動する場面が多いので、各自の課題を明確にして全員が１つになって積極的にダンスに向き合う。特に作品づくりは、時間が必要なので授業以外でも計画的に活動する。

評価方法

授業態度　50%　作品づくり（卒業公演他）30%　レポート課題20%

留意事項

失敗を恐れず、ダンスに関するいろいろなことに挑戦する姿勢が大切である。
ダンスはグループで作り上げる場合が多いので、それに必要なコミュニケーション力をつける。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	各自健康の維持増進のための生活習慣を考え、ダンスに適した理想的な身体の追求を図る	
第2回	各自健康の維持増進のための生活習慣を考え、ダンスに適した理想的な身体の追求を図る	
第3回	各自健康の維持増進のための生活習慣を考え、ダンスに適した理想的な身体の追求を図る	
第4回	各自健康の維持増進のための生活習慣を考え、ダンスに適した理想的な身体の追求を図る	
第5回	ホスピタリティを実践する為には、自分自身を良く知ることが必要である。特に自分の特長を充分伸ばす工夫をする	
第6回	ホスピタリティを実践する為には、自分自身を良く知ることが必要である。特に自分の特長を充分伸ばす工夫をする	
第7回	社会生活においてマナーを守る際、特にホスピタリティが重要であることを知り、それぞれの場面に応じたマナー実践を考える	
第8回	社会生活においてマナーを守る際、特にホスピタリティが重要であることを知り、それぞれの場面に応じたマナー実践を考える	
第9回	社会生活においてマナーを守る際、特にホスピタリティが重要であることを知り、それぞれの場面に応じたマナー実践を考える	
第10回	テーマパークダンサーのオーディション対策を整理し、個人の課題を確認する	
第11回	テーマパークダンサーのオーディション対策を整理し、個人の課題を確認する	
第12回	テーマパークダンサーのオーディション対策を整理し、個人の課題を再確認する	
第13回	テーマパークダンサーのオーディション対策を整理し、個人の課題を確認する	
第14回	テーマパークダンサーのオーディション対策を整理し、個人の課題を再確認する	
第15回	テーマパークダンサーのオーディション対策を整理し、個人の課題を確認する	
第16回	個人の理想体型に近づくために、適正な体脂肪率や筋肉量を考えたトレーニングを実践する	
第17回	個人の理想体型に近づくために、適正な体脂肪率や筋肉量を考えたトレーニングを実践する	
第18回	個人の理想体型に近づくために、適正な体脂肪率や筋肉量を考えたトレーニングを実践する	
第19回	学園祭などのイベントを想定した効果的な演出方法を考えながら作品づくりをする	
第20回	学園祭などのイベントを想定した効果的な演出方法を考えながら作品づくりをする	
第21回	学園祭などのイベントを想定した効果的な演出方法を考えながら作品づくりをする	
第22回	学園祭などのイベントを想定した効果的な演出方法を考えながら作品づくりをする	
第23回	卒業公演の作品づくりを通して、お互いにチェックをしあうことの大切さを知る	
第24回	卒業公演の作品づくりを通して、お互いにチェックをしあうことの大切さを知る	
第25回	卒業公演の作品づくりを通して、お互いにチェックをしあうことの大切さを知る	
第26回	卒業公演の作品づくりを通して、お互いにチェックをしあうことの大切さを知る	
第27回	卒業公演の作品づくりを通して、お互いにチェックをしあうことの大切さを知る	
第28回	総合的な卒業公演の練習を通して、舞台をプロデュースする実践力を学ぶ	
第29回	総合的な卒業公演の練習を通して、舞台をプロデュースする実践力を学ぶ	
第30回	総合的な卒業公演の練習を通して、舞台をプロデュースする実践力を学ぶ	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ダンスの基礎Ⅱ		
講義コード	J502		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	塩谷　友美		

意義と目的

ダンサーに必要な体づくり、技術を学ぶ。姿勢、柔軟性、筋力等、正しく体を操る基礎力を身につける。

到達目標

強く伸びやかに踊ることができる。正しく体を操ることができる。

方法

ストレッチ・筋力トレーニングの反復練習をする。基本技術の反復練習をする。

評価方法

小テスト（60%）　授業態度（40%）

留意事項

髪をまとめ、体のラインが見える服装で受講すること。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	技術チェック	事後：到達目標を立てる
第2回	柔軟・筋力トレーニング	事後：反復練習
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	基本ステップ	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	〃	〃
第10回	基本ステップの応用	〃
第11回	〃	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	小テスト	〃
第16回	基本ステップ	事後：反復練習
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	〃	〃
第21回	基本ステップの応用	〃
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	〃	〃
第26回	〃	〃
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	小テスト	事後：学んだことを振り返る

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	振付演習		
講義コード	J503		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	三代　真史		

意義と目的

自分自身を最高に輝かせ、落ち着きと説得力のあるパフォーマンスを発揮できるようにする。

到達目標

技術やスキルをアップすることで、自分自身のパフォーマンスに自信ができる。

方法

ここぞと言う時に、精神と肉体を最高な状態に保ち自分の持てるすべての力が発揮できるよう集中力を高めるトレーニングを行う。

評価方法

実技　６０％　　授業態度　３０％　　積極性・協調性１０％

留意事項

自分で限界でつくらない。学んだことをノートに記録する。成長の為の大切な時間を無駄にしない。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション　　全国ダンスコンクールに向け練習	目標を明確にし、出演者が心ひとつにまとまりを持つ。
第2回	全国ダンスコンクールに向け練習	振付を確実・正確に覚える。また、手直しされた動きがあった場合は反復練習を行う。
第3回	全国ダンスコンクールに向け練習	動きのアクセント・角度・スピード等、そろえていく。
第4回	全国ダンスコンクールに向け練習	本番に備えた稽古
第5回	基本動作の反服練習	自分の癖を無くし、ひとつひとつの動作を丁寧に行う。
第6回	基本ステップ　初級	ひとつひとつの動作を丁寧に行う。
第7回	コンビネーション　初級	魅力的に踊れるようする。
第8回	基本ステップ　中級	ひとつひとつの動作を丁寧に行う。
第9回	コンビネーション　中級	魅力的に踊れるようする。
第10回	コンビネーション　中級	魅力的に踊れるようする。
第11回	コンビネーション　中級～上級①	魅力的に踊れるようする。見てくれる方へ心を伝えられるような踊りができるようにする。
第12回	コンビネーション　中級～上級②	魅力的に踊れるようする。見てくれる方へ心を伝えられるような踊りができるようにする。
第13回	コンビネーション　中級～上級③	魅力的に踊れるようする。見てくれる方へ心を伝えられるような踊りができるようにする。
第14回	コンビネーション　中級～上級③	魅力的に踊れるようする。見てくれる方へ心を伝えられるような踊りができるようにする。
第15回	前期のまとめ	学んだことを振り返る
第16回	基本から応用	自分の癖を無くし、ひとつひとつの動作を丁寧に行う。
第17回	基本から応用	自分の癖を無くし、ひとつひとつの動作を丁寧に行う。
第18回	基本から応用	自分の癖を無くし、ひとつひとつの動作を丁寧に行う。
第19回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第20回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第21回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第22回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第23回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第24回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第25回	卒業公演に向けての準備	テーマ・選曲・振付・・メンバー・ダンス構成・衣裳・等、進めていく。
第26回	卒業公演のリハーサル	スムーズに進行出来るように練習！
第27回	卒業公演のリハーサル	スムーズに進行出来るように練習！
第28回	卒業公演のリハーサル	衣裳を着け、スムーズに進行出来るように練習！
第29回	卒業公演のリハーサル	衣裳を着け、スムーズに進行出来るように練習！
第30回	卒業公演のリハーサル	衣裳を着け、スムーズに進行出来るように練習！

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ダンス指導法		
講義コード	J504		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	今井　沙也香		

意義と目的

ダンスの基礎、アイソレーション、ボディコントロールを習得し、コンビネーション、振り付けを生み出す。分かりやすい指導、表現が出来る力を身につける。

到達目標

ダンス指導に必要な技術、テクニック、指導力を身に付けることができる。

方法

実践の中で指導力を身に付け教え方を学びます。

評価方法

小テスト　６０％　授業態度　２０％　実践の理解度　２０％

留意事項

体調管理を万全にし、遅刻や欠席をしないようにしてください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ダンスの基礎解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第2回	アイソレーションの解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第3回	ボディコントロールの解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第4回	リズムとり、技術の解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第5回	振り付けの解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第6回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第7回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第8回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第9回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第10回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第11回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第12回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第13回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第14回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第15回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第16回	ダンスの基礎解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第17回	アイソレーションの解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第18回	ボディコントロールの解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第19回	リズムとり、技術の解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第20回	振り付けの解説。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第21回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第22回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第23回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第24回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第25回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第26回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第27回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第28回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第29回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第30回	指導の実践。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	オーディション対策		
講義コード	J505		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	髙橋　早霧		

意義と目的

オーディション合格へ到達することができる。

到達目標

レベルアップ（身体的・精神的）をはかり、各オーディションの合格率を上げることができる。。トレーニングぅぃしっかり組み込むことができる。

方法

体幹等の筋力アップも含め、合格するためには何が足らないかを各々から引き出していき、模擬オーディションを６回行う。それに伴いフィードバックする。発声も指導。

評価方法

実技　60%　態度　20%　レポート　20%

留意事項

身体のラインのわかる服装にて受講すること。自己の力を最大限高めるべく努めること。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	目標設定　夢の明確化、スピーチ（宣言）仮	事後：レポート作成
第2回	夢の明確化と宣言	プレゼンテーションの練習をする
第3回	テーマパーク基礎（トレーニング・アインレーション）　ブリエ	各自の課題をまとめる
第4回	テーマパーク基礎（トレーニング・ピルエット、ロンデ）　バットマン	各自の課題をまとめる
第5回	テーマパーク基礎（アクセルターン　アチチュードターン）　ジャンプ系テクニック	各自の課題をまとめる
第6回	模擬オーディション（仮テスト）	自分の長所短所をまとめる
第7回	模擬オーディション（本テスト）	自分の長所短所をまとめる
第8回	模擬オーディション（仮テスト）	自分の長所短所をまとめる
第9回	模擬オーディション（本テスト）	自分の長所短所をまとめる
第10回	振り返り（オーディションを前にすべきこと） 模擬オーディション（仮テスト）	事前：オーディションへの息ごみ　気付きについての考察を深める
第11回	模擬オーディション(本テスト)	改善点をまとめる
第12回	テーマパークダンス　応用（JAZZテイスト）	各自の課題をまとめる
第13回	テーマパークダンス　応用（JAZZテイスト）	各自の課題をまとめる
第14回	模擬オーディション（仮テスト）	自分の長所短所をまとめる
第15回	模擬オーディション（本テスト）	自分の長所短所をまとめる
第16回	後期目標の明確化　サンリオ対策・発声	事後：後期目標レポート作成
第17回	後期の目標宣言　サンリオ対策　MC指導　模擬オーディション	振りを細かくチェックする
第18回	模擬オーディション（仮テスト）	振りを細かくチェックする
第19回	模擬オーディション（本テスト）	振りを細かくチェックする
第20回	テーマパーク応用（表現力強化）	振りを細かくチェックする
第21回	テーマパーク応用（弱点を見つめる）	振りを細かくチェックする
第22回	模擬オーディション（仮テスト）	振りを細かくチェックする
第23回	模擬オーディション（本テスト）	振りを細かくチェックする
第24回	歌唱・MC対策	振りを細かくチェックする
第25回	弱点強化対策	事後：弱点と強みを見つめる
第26回	弱点強化対策	事後：弱点と強みを見つめる
第27回	弱点強化対策	事後：弱点と強みを見つめる
第28回	弱点強化対策	事後：弱点と強みを見つめる
第29回	まとめ	事後：１年後の自分を描き、その差を考察する
第30回	まとめ	事後：１年を振り返り、これからについて考察する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	現代ダンス史		
講義コード	J506		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	浅井　紀子		

意義と目的

現在のダンスの種類を理解し、音楽、文化、歴史等の背景も学び、自由な表現力を身につける。またヨーロッパとアメリカと日本のダンスシーンの現状を知り、これからのダンスの市場と影響を学ぶ。

到達目標

①基本の習得、応用である即興ダンスができる。さまざまな舞台で自信を持って踊る力を身につけることができる。
②歴史から知るプロの現場のルールと責任を完成することができる。

方法

映像などを用い、ダンスの種類と有名な作品などの資料を見ながら歴史を説明。
実践と反復練習することで、基本を身につけ、自由に表現できる力をつける。

評価方法

テスト（60%）、実技の理解度（20%）、授業態度（20%）

留意事項

現在のダンスには様々な世界の歴史に影響を受けており、また流行りの動きなどにも、それを取り巻く環境から生まれている。それを理解して踊れるようにしていきましょう。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ストリートダンスの種類を学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第2回	ストリートダンスの歴史を深める。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第3回	ストリートダンスの海外と日本の違い学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第4回	ストリートダンスの歴史と振り付けの流行りの流れを学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第5回	ストリートダンスの歴史と振り付けの流行りの流れを学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第6回	基礎ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第7回	基礎ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第8回	基礎ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第9回	基礎ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第10回	基礎ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第11回	基礎ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第12回	ルーティンで基本ステップの実践と流れを身につける。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第13回	ルーティンで基本ステップの実践と流れを身につける。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第14回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第15回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第16回	ストリートダンスの歴史を深める。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第17回	ストリートダンスの歴史を深める。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第18回	ストリートダンスの海外と日本の違い学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第19回	ストリートダンスの歴史と振り付けの流行りの流れを学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第20回	ストリートダンスの歴史と振り付けの流行りの流れを学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第21回	ストリートダンスの歴史と振り付けの流行りの流れを学ぶ。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第22回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第23回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第24回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第25回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第26回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第27回	ルーティンで基本ステップの実践と流れを身につける。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第28回	ルーティンで基本ステップの実践と流れを身につける。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第29回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第30回	基本ステップを確実に習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	テーマパークダンスⅡ		
講義コード	J507		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	内　絵梨香		

意義と目的

基礎となる体力、筋力をつけ、踊りに必要な体感を鍛える。テーマパークダンサーとはどういうことなのかを学び、ダンススキルやテクニックはもちろん自らが考える力も養っていく。

到達目標

テーマパークへ合格できるのを目標に実力を身に付けることができる。徹底的にテーマパークダンスに必要な基礎の部分を身に付けることができる。

方法

いかに忠実に振りつけを覚えられるか、見せる力と表現力を身に付ける練習をする。段階をきちんと踏みテーマパークダンスの土台をきちんとつくっていけるよう丁寧に授業を進めていく。

評価方法

実技(80%)、授業態度(20%)

留意事項

自己流の踊りにならないように、振付師の期待に応えられるように考えてほしい。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

0

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	基礎スキルの見直し（正確性の重視）	事後・授業内容の復習
第2回	基礎スキルの見直し（正確性の重視）	事前・前回の留意点の確認
第3回	基本の動きを学ぶ（ポーズ・移動など）	事後・授業内容の復習
第4回	基本の動きを学ぶ（ポーズ・移動など）	事前・前回の留意点の確認
第5回	身体の使い方（上半身）	事後・授業内容の復習
第6回	身体の使い方（上半身）	事前・前回の留意点の確認
第7回	身体の使い方（下半身）	事後・授業内容の復習
第8回	身体の使い方（下半身）	事前・前回の留意点の確認
第9回	身体の使い方（総合的に）	事後・授業内容の復習
第10回	身体の使い方（総合的に）	事前・前回の留意点の確認
第11回	基本的な柔らかい動作	事後・授業内容の復習
第12回	基本的な柔らかい動作	事前・前回の留意点の確認
第13回	基本的な力強い動作	事後・授業内容の復習
第14回	基本的な力強い動作	事前・前回の留意点の確認
第15回	スキルの正確性を確認する	事前・これまで学んだ事を振り返る
第16回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ	事後：振りつけの確認
第17回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ	事後：振りつけの確認
第18回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ発表	事後：振りつけの確認
第19回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ	事後：振りつけの確認
第20回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ発表	事後：振りつけの確認
第21回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ	事後：振りつけの確認
第22回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ発表	事後：振りつけの確認
第23回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ	事後：振りつけの確認
第24回	ストレッチ＆筋力づくり、フロアーの動きと振りつけ発表	事後：振りつけの確認
第25回	ストレッチと筋力作り　フロアーの動きとクリスマス	事後：振りつけの確認
第26回	ストレッチと筋力作り　クリスマスの確認	事後：振りつけの確認
第27回	ストレッチと筋力作り　振りつけグループごと発表	事後：振りつけの確認
第28回	ストレッチとメンテナンス　卒業講演の確認	事後：振りつけの確認
第29回	ストレッチとメンテナンス　卒業講演の確認	事後：振りつけの確認
第30回	ストレッチとメンテナンス　卒業講演の確認	事後：振りつけの確認

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	バレエ		
講義コード	J508		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	越智　久美子		

意義と目的

バレエにおける美の原則は基本的なポジションが揃っているかである。その大切さをしっかり理解し正確に行えるようにする。基礎を発展させ高度なステップを学ぶ。ヴァリアシオンも研究する。

到達目標

クラシックバレエの正しい基礎を身に付けることができる。

方法

バーレッスン中心で基本的なポジションを学ぶ。バーセンター、レッスンを行う。センターでより高度なテクニックを追求する。ヴァリアシオンのテクニックも研究する。

評価方法

中間試験　５０％　期末試験　５０％

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	バーレッスン中心で基本的なポジションを学ぶ	授業内容の復習
第2回	〃	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	〃	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	〃	〃
第10回	〃	〃
第11回	バー・センター・でレッスンを行う。	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	〃	〃
第16回	〃	〃
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	センターでより高度なテクニックを追求する	〃
第21回	〃	〃
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	〃	〃
第26回	ヴァリアシオン＆テクニックも研究する	〃
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	〃	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	バリエーション		
講義コード	J509		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	越智　久美子		

意義と目的

クラシックバレエの作品よりバリエーションを学ぶ。

到達目標

バリエーション曲を習得することにより舞台における実践的な踊りを身に付けることができる。それぞれのステップをパート毎に正し身に付けることができる。全体を通じてより芸術性を深めてゆくことができる。

方法

全員で課題曲/曲。個人の好きな曲を1曲（講師が選ぶのも可）

評価方法

中間試験　５０％　期末試験　５０％

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	それぞれのステップをパート毎に学ぶ	授業内容の復習
第2回	〃	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	〃	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	〃	〃
第10回	パート毎にさらに正しく学ぶと同時に繋げてゆく。	〃
第11回	〃	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	〃	〃
第16回	〃	〃
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	全体を通じて芸術性と深めてゆく	〃
第21回	〃	〃
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	〃	〃
第26回	〃	〃
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	〃	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	コンテンポラリーダンス		
講義コード	J510		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	倉知　可英		

意義と目的

自分自身の内面を表現するための様々な動きができるような身体の使い方、怪我をしないような身体の使い方を中心に習得する。

到達目標

外見の形だけにとらわれず「心」から人に伝わるパフォーマンスができる。

方法

実技

評価方法

実技　30%　授業態度　50%　積極性　20%

留意事項

身体を作るための基本的なコンテンポラリーダンスの独自のボディートレーニングを理解し、できないことがあっても地道に努力し、新しい発見をしてほしい。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	コンテンポラリーダンスについて 今後授業で行う基本的なボディトレーニング	コンテンポラリーダンスについての自分の持つイメージを考える（事後）
第2回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第3回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第4回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第5回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第6回	ボディコンディショニング （マッサージやストレッチの方法）	各自のウォーミングアップ等に取り入れる（関連）
第7回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第8回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第9回	基本的なボディトレーニング アトリエⅠ	アトリエのテーマについて考える（事前）
第10回	基本的なボディトレーニング アトリエⅡ	アトリエのテーマについて考える（事前）
第11回	基本的なボディトレーニング 作品振付	振りへの確認
第12回	基本的なボディトレーニング 作品振付	振りへの確認
第13回	作品振付	振りを考える（事前）
第14回	作品振付	振りを考える（事前）
第15回	前期のまとめとしての作品発表	発表したものを次のステップに生かす。
第16回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第17回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第18回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第19回	基本的なボディトレーニング コンビネーション	振りへの確認
第20回	アトリエⅢ	テーマについて考えてくる（事前）
第21回	基本的なボディトレーニング コンタクトインプロビゼーション	振りへの確認
第22回	基本的なボディトレーニング コンタクトインプロビゼーション	振りへの確認
第23回	実技テストの準備（創作）	作品に使用する音楽などを探す（事前）
第24回	実技テストの準備（創作）	作品に使用する音楽などを探す（事前）
第25回	実技テストの準備（創作）	自分なりの振りを考える（事前）
第26回	実技テストの準備（創作）	自分なりの振りを考える（事前）
第27回	実技テストの準備（創作）	自分なりの振りを考える（事前）
第28回	実技テストの準備（創作）	自分なりの振りを考える（事前）
第29回	実技テストの準備（創作）	自分なりの振りを考える（事前）
第30回	実技テスト	自分なりの振りを考える（事前）

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ミュージカル研究		
講義コード	J511		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	夏目　久子		

意義と目的

声を使って表現する音楽という芸術の素晴らしさをいろいろな楽曲を通して体感し、深くを味わう

到達目標

正しい発声方法や読譜力を学び、音楽の基礎を修得を通じて、ミュージカルを中心にそれぞれの楽曲を歌い込むこおｔができる。

方法

ピアニストによる伴奏をよく聴いて、より深く音楽を味わうと共に、別のパフォーマンスに応用するヒントをつかむ

評価方法

振る付け歌う実技（８０％）　授業態度（２０％）

留意事項

音楽は音を楽しむと書く通り、楽しむ気持ちで集中して授業を受けてほしい

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

標準版コールユーブンゲン（全音楽譜出版社）　　コンコーネ５０番・中声用（全音楽譜出版社）

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第2回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第3回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第4回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第5回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第6回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第7回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第8回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第9回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第10回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第11回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第12回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第13回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第14回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第15回	ミュージカルの他、幅広いジャンルの楽曲を味わう	歌う習慣を身に付ける
第16回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第17回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第18回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第19回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第20回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第21回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第22回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第23回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第24回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第25回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第26回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第27回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第28回	ミュージカルなどの楽曲を歌うと共に講師によるオペラを聴く機会を設け、深く音楽を楽しむ	歌う習慣を身に付ける
第29回	課題曲により実技テスト	歌う習慣を身に付ける
第30回	まとめ	歌う習慣を身に付ける

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ミュージカルダンス		
講義コード	J512		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　明子		

意義と目的

テーマパークダンスの中でも歌や演技・ミュージカルを取り入れ、学ぶことにより、より表現力のあるテーマパークダンサーになることを目指します。

到達目標

テーマパークダンサーとしての発声・演技を学び、役について深く考察することにより、歌やＭＣ、演技ができる。

方法

いろいろなテーマパークダンス・ミュージカルダンスの振り付けを学びます。

評価方法

実技テスト（７０％）　授業態度（３０％）

留意事項

その役（キャラクター）について考えること。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	発声・歌・演技とテーマパークミュージカルダンス	振り付けは次の授業までに復習すること、授業後のクールダウン・ストレッチは各自ですること
第2回	〃	〃
第3回	〃	〃
第4回	〃	〃
第5回	〃	〃
第6回	〃	〃
第7回	〃	〃
第8回	歌や演技を取り入れることにより、より表現力のあるダンサーを目指す。（オーディション対策）	〃
第9回	〃	〃
第10回	〃	〃
第11回	〃	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	テスト	〃
第16回	卒業公演のためのミュージカル・テーマパーク　ナンバー作品作り	振り付けは次の授業までに復習してくる。授業後クールダウン・ストレッチは各自ですること
第17回	〃	〃
第18回	〃	〃
第19回	〃	〃
第20回	〃	〃
第21回	〃	〃
第22回	〃	〃
第23回	〃	〃
第24回	〃	〃
第25回	〃	〃
第26回	〃	〃
第27回	〃	〃
第28回	〃	〃
第29回	〃	〃
第30回	〃	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ジャズヒップホップⅡ		
講義コード	J513		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	今井　沙也香		

意義と目的

JAZZの基礎、アイソレーション、HIPHOPのリズム感を習得し、表現力、魅せ方、オリジナルダンスを生み出す。発想力や想像力を豊かにし、作品を作り上げる力を身に付ける。

到達目標

ステージで観客に伝わる表現力や技術、パフォーマンスを身に付けることができる。

方法

実践の中で技術、テクニック、リズム感を学びます。

評価方法

小テスト　６０％　授業態度　２０％　実践の理解度　２０％

留意事項

体調管理を万全にし、遅刻や欠席をしないようにしてください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第2回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第3回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第4回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第5回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第6回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第7回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第8回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第9回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第10回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第11回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第12回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第13回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第14回	作品作り。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第15回	作品作り、オーディション対策を行う。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第16回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第17回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第18回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第19回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第20回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第21回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第22回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第23回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第24回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第25回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第26回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第27回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第28回	JAZZ,HIPHOPの基礎、技術を習得していく。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第29回	作品作り。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。
第30回	作品作り、オーディション対策を行う。	反復練習を行い、更なる習得を目指す。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ストリートダンスⅡ		
講義コード	J514		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　染香		

意義と目的

リズム取り、アイソレーションなどヒップホップダンスの基礎、横領力を身に付け、ステージで発揮するための表現力を身に付け、パフォーマンスに不可欠な表現力やテクニックを学ぶ。

到達目標

ヒップホップの基本、応用テクニックを身に付け、ステージで発揮するための表現力を身に付けることができる。

方法

実践で反復練習することで基本ステップとその応用、独特なリズムやグループ感を身に付けれる様、ていねいに指導する。

評価方法

小テスト（６０％）　実践の理解度（２０％）　授業態度（２０％）

留意事項

体調管理を万全にし、集中して受講してください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ヒップホップダンスの知識を深める	関連：ヒップホップに関する資料を調べる
第2回	基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習
第3回	基本ステップ＆コンビネーション	事後：反復練習
第4回	ルーティーンで基本ステップの実践	事後：反復練習
第5回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第6回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第7回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第8回	ルーティーンで基本ステップの応用実践	事後：反復練習
第9回	ルーティーンでの応用実践	事後：反復練習
第10回	ルーティーンでの応用実践	事後：反復練習
第11回	ルーティーンでの応用実践	事後：反復練習
第12回	グループでの発表実践	事後：反復練習
第13回	実際のバックダンサーのルーティーン実践	事後：反復練習
第14回	実際のバックダンサーのルーティーン実践	事後：反復練習
第15回	実際のバックダンサーのルーティーン実践	事後：反復練習
第16回	自由曲でのコレオ発表（ソロ）	事前：振り付け、練習
第17回	自由曲でのコレオ発表（ソロ）	事前：振り付け、練習
第18回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第19回	基本ステップ＆コンビネーション応用	事後：反復練習
第20回	ルーティーンで基本ステップの応用と流れを身に付ける。	事後：反復練習
第21回	ルーティーンで基本ステップの応用と流れを身に付ける。	事後：反復練習
第22回	グループでの振り付け、構成の実践。	事後：反復練習
第23回	グループでの振り付け、構成の実践。	事後：反復練習
第24回	グループでの振り付け、構成の実践。	事後：反復練習
第25回	グループでの振り付け、構成の実践。発表。	事後：反復練習
第26回	ソロ即興の実践でオーディション対策	事後：反復練習
第27回	ソロ即興の実践でオーディション対策	事後：反復練習
第28回	ソロ即興の実践でオーディション対策	事後：反復練習
第29回	総復習	事後：反復練習
第30回	総復習	事後：反復練習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ダンス研究		
講義コード	J515		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	坂本　久美子		

意義と目的

ジャズダンスを基礎から学び、プロダンサーとして活躍する為に必要な業界から求められる人材育成を図る。

到達目標

プロダンサーとしてステージ活動をする為のステージ知識・礼儀・ダンステクニック・表現をすることができる。2年生全員の総力による創作活動ができる。

方法

効率を高めるため、継続して練り上げていく本格的な創作活動を実践する。

評価方法

事業態度　80%　　実技　20%

留意事項

常に規定の服装・髪型で授業に臨み集中して自己のダンス力向上を図る。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ジャズダンスの基礎練習（バットマン）	スキルの復習
第2回	ジャズダンスの基礎練習（バットマン）	スキルの復習
第3回	ジャズダンスの基礎練習（ターン）	スキルの復習
第4回	ジャズダンスの基礎練習（ターン）	スキルの復習
第5回	ジャズダンスの基礎練習（ジャンプ）	スキルの復習
第6回	ジャズダンスの基礎練習（ジャンプ）	スキルの復習
第7回	ジャズダンスのコンビネーション①	スキルの復習
第8回	ジャズダンスのコンビネーション２	スキルの復習
第9回	ジャズダンスのコンビネーション③	スキルの復習
第10回	ジャズダンスのコンビネーション④	スキルの復習
第11回	ジャズダンスのコンビネーション⑤	スキルの復習
第12回	ジャズダンスのコンビネーション⑥	スキルの復習
第13回	ジャズダンスのコンビネーション⑦	スキルの復習
第14回	ジャズダンスのコンビネーション⑧	スキルの復習
第15回	実技の習熟度を確認	反省
第16回	舞台知識・礼儀、言葉使い、態度、卒業公演の演出・振付と練習。作品の制作準備、完成を目指す。	復習
第17回	卒業公演、演出・振付、練習、作品の完成を目指す。	予習・復習
第18回	卒業公演、演出・振付、練習、作品の完成を目指す。	予習・復習
第19回	卒業公演、演出・振付、練習、作品の完成を目指す。	予習・復習
第20回	卒業公演、演出・振付、練習、作品の完成を目指す。	予習・復習
第21回	卒業公演、演出・振付、練習、作品の完成を目指す。	予習・復習
第22回	ドレスリハーサル1　完成度を高める	予習・復習
第23回	ドレスリハーサル２　完成度を高める	予習・復習
第24回	舞台学習（ゲネプロ１）完成度を高める	予習・復習
第25回	舞台学習（ゲネプロ２）完成度を高める	予習・復習
第26回	舞台学習（ゲネプロ３）完成度を高める	予習・復習
第27回	舞台学習（本番１）	予習・復習
第28回	舞台学習（本番２）	予習・復習
第29回	舞台学習（本番３）	予習・復習
第30回	舞台学習（本番４）	予習・復習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化論		
講義コード	J601		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	１時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	60
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	長谷川　明子		

意義と目的

今、地球は大きな転換期にあります。13分に１種類の生物が地球上から絶滅している状況で未来は大丈夫でしょうか？より良い未来、幸せな社会を継続させる為に、私たちがすべき行動を学びます。

到達目標

１　環境問題を自分ごととして考え、行動できるようになる。
２　インターネットから、より正しい情報を入手できるようになる。
３　プレゼンテーションが出来るようになる

方法

映像やクイズ形式での講義、ワークショップなどを実施し楽しみながら、講義を行います。
プレゼンテーションスキルを高めるために、ピア　ティーチを実施します。

評価方法

期末試験：40%　レポート提出：30%　授業態度（プレゼンテーション含む）：30%

留意事項

環境問題は他人事ではなく、自分の問題です。自分の行動が未来を左右することを意識し、どうしたら楽しい行動（ハッピーアクション）になるのか一緒に考えていきましょう。

教科書

書名1 生物多様性　私と地球を元気にする方法 著書名
長谷川明子　出版社　技報堂出版 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

環境省ホームページ、企業のホームページなど

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	2050年の地球	予習：2050年の自分を考えてくる
第2回	世界にここにしかない自然　文化の中の野生生物	復習：生活の中にある野生生物をモチーフにしたものを探す
第3回	愛知目標　生物多様性条約	復習：生物多様性条約と自分との関係を考える
第4回	１０の言葉	復習：身近な自然を観察する
第5回	認証マーク	予習：環境に配慮していると思われるマークを３つ調べてくる
第6回	昨日の夕食は？	復習：興味あるもののサプライチェーンを考える
第7回	リオ宣言　リオ宣言を絵にしよう	事後：自分にできること考える
第8回	自然を感じよう	予習：日本在来の花を春夏秋冬2種調べる
第9回	日本の本来の自然VS外来生物	予習：外来生物の問題点と対策を考える
第10回	生物を守る条約&法律　ワシントン条約など	予習：ワシントン条約について調べる
第11回	自分の学んでいるコースと野生生物	予習：自分の学科と野生生物との関係を調べる
第12回	生き物たちの喫茶店（生態系ネットワーク）	予習：街中で人間と生き物たちの両方にとって良い場所を探す
第13回	環境とオリンピック	予習：オリンピックで環境配慮していることを調べる
第14回	明るい未来に 地球を守ろうとしている企業の試み	予習：自分が興味をもっている企業の環境保全の試みを調べる
第15回	美しい地球人に 自分と環境行動　ゴミはどこへ？下水の水はどうなるの？	予習：自分がやれる環境配慮行動を考え、行動する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	レクリエーション概論		
講義コード	J602		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	１時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16J	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

人類共通の感情である、楽しさや喜びを求める気持ちや人生を充実させる生きがいを求める気持ちをレクリエーションを通じて具体化する。レクリエーションの実践方法を学び、生活の質を向上させる。

到達目標

機械化による身体活動の減少、少子高齢社会におけるレクリエーションの使命を習得することができる。レクリエーション活動を取り巻く制度を習得することができる。レクリエーション支援の方法を習得することができる。

方法

レクリエーションの必要性を実感する。日本レクリエーション協会のテキストをもとに生活文化学科として日常生活に根付いた内容を中心に学ぶ。

評価方法

授業態度　50%
レポート課題　50%

留意事項

レクリエーション支援を学ぶにはホスピタリティが大切であることを理解する。

教科書

書名「レクリエーション支援の基礎」　著者名　公益財団法人日本レクリエーション協会

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	テキストをもとにレクの基礎理論（レクの意義）について学ぶ	レクリエーションの種類を調べる
第2回	テキストをもとにレクの基礎理論（歴史・期待）について学ぶ	レクリエーションの歴史をまとめる
第3回	テキストをもとにレクの基礎理論（インストラクターの役割）について学ぶ	レクリエーション支援の方法を調べる
第4回	テキストをもとにレクの基礎理論（インストラクターの役割）について学ぶ	レクリエーション支援の方法を調べる
第5回	テキストをもとにレク支援論（ライフスタイルのあり方）について学ぶ	レクリエーション支援の方法を調べる
第6回	テキストをもとにレク支援論（ライフスタイルのあり方）について学ぶ	レクリエーション支援の方法を調べる
第7回	テキストをもとにレク支援論（少子高齢社会とレク）について学ぶ	レクリエーションの必要性を調べる
第8回	テキストをもとにレク支援論（少子高齢社会とレク）について学ぶ	レクリエーションの必要性を調べる
第9回	テキストをもとにレク支援論（地域とレク）について学ぶ	総合型地域スポーツクラブについて調べる
第10回	テキストをもとにレク支援論（地域とレク）について学ぶ	特技を生かしたレクリエーション支援の方法考える
第11回	テキストをもとにレク事業論（レク事業とは何か）について学ぶ	レクリエーション事業の種類を調べる
第12回	テキストをもとにレク事業論（事業計画の立て方）について学ぶ	レクリエーション事業の計画案を作成する
第13回	テキストをもとにレク事業論（事業計画の立て方）について学ぶ	レクリエーション事業の計画案を作成する
第14回	テキストをもとにレク事業論（安全管理の方法）について学ぶ	レクリエーションで発生する事故について調べる
第15回	テキストをもとにレク事業論（安全管理の方法）について学ぶ	レクリエーションの安全管理についてまとめる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	心理学		
講義コード	J603		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16J	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	成田　絵吏		

意義と目的

心理学についての知識や理解を深め、自ら疑問に対して考察する、探求していく力を培う。

到達目標

心理学についてさまざまな分野があり、それを理解した上で、日常生活の中での疑問など心理学的な視点から考察しようという試みができる。

方法

日常生活や映画などを用いながら、身近なこととして心理学への関心や理解が出来るように講義を行う。

評価方法

レポート課題(60%)、その他の提出物(20%)、授業態度(20%)

留意事項

受け身的に講義を受けるのではなく、自分自身で考えをめぐらせるなど主体的に講義で取り扱った内容を考察する。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

心理学に関する書籍など

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーションと心理学について	心理学にも様々な分野があることを理解する
第2回	認知の心理学～本当に正しく見ているか？～	人間の感覚、知覚、記憶に関する理解を深める
第3回	認知の心理学②～人の記憶の世界？～	人間の感覚、知覚、記憶に関する理解を深める
第4回	学習の心理学①～学習しやすい時期はあるのか？～	学習のプロセスや動機づけなどについて理解を深める
第5回	学習と発達の心理学～映画から見ることばを学習すること～	学習のプロセスや動機づけなどについて理解を深める
第6回	学習の心理学②～条件づけとやる気～	学習のプロセスや動機づけなどについて理解を深める
第7回	発達の心理学～人は一生発達する～	人間の発達についての理解を深める
第8回	発達の心理学②～キャリア発達～	キャリア発達に関する理解を深める
第9回	発達の心理学③～映画から見る発達のかたより～	さまざまな発達の偏りについて理解を深める
第10回	これまでのまとめ	これまで学んだ心理学についてまとめ、自分の関心のある領域について探求する
第11回	心の健康と心理学～異常、ストレスってなんだろう？～	正常、異常とはなにか自ら考察し、臨床心理学につて適切な理解を深める
第12回	心の健康と心理学②～あなたのストレス対処～	ストレスに対するコーピングについてや、自分とは異なる他者理解を深める
第13回	社会と心理学①～コミュニケーションのいろいろな形～	コミュニケーションのありようについて自分自身のをふりかえる
第14回	社会と心理学②～人の話をちゃんと聞くということ～	よりよいコミニュケーションスタイルについて考察する
第15回	総括	これまで学んだ心理学についてまとめ、自分の関心のある領域について探求する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	フランス語Ｉ		
講義コード	J604		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ペリエ　岩田　フロラン		

意義と目的

フランス語を学生に理解

到達目標

フランス語で物事をシンプルに表現するために学生に基本的なツールを提供

方法

毎週、レッスンの目的を説明してからクラースが始まります。次は教科書のレッスンのプレゼンテーション。説明する事をいつもボードに書きます。

評価方法

筆記テスト。ノートと教科書と日仏辞書は持ち込みOK。テストで出る問題は：日本語の文章をフランス語に訳する事とフランス語の質問にフランス語で答える事です。

留意事項

バラバラのシートよりもノートを使ってください。毎週日つけとレッスンの内容を書き忘れないように。

教科書

書名1 F comme français 著書名　Tomoko Fujita, Yasuko Tanabe, Keiichi Naganuma, Sachiko Sakurai　出版社 surugadai shuppansha 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	自己紹介、前期のプログラームのプレゼンテーション、教科書の使い方、方法、目的、目標、テストの内容。フランス語の発音、挨拶の単語。	
第2回	先週のまとめ。フランス語の最初の単語パート２。一番シンプルな文章：主語と動詞。フランス語の文法の一番大切なルールの説明。	
第3回	先週のまとめ。数字、初めての動詞活用。使い方練習。教科書持ち込み聞き取り。	
第4回	先週のまとめ。国籍と名刺の男性形と女性形。質問答えの練習。	
第5回	先週のまとめ。職業と名刺の男性形と女性形。次の動詞の活用と使いかた。質問答えの練習。	
第6回	先週のまとめ。好み表す動詞、活用と使いかた。le café とla boulangerie の語彙。	
第7回	先週のまとめ。趣味と単純活動表す動詞活用と使いかた、もう一回自己小愛する事。	
第8回	先週のまとめ。好み表す動詞+原型、質問答え、練習。	
第9回	先週のまとめ、ノート持ち込み聞き取り。be動詞利用して質問と答え作る。	
第10回	先週のまとめ。動詞活用の復習、質問答えを作るの復習。	
第11回	Video; Bonjour Paris. Leçon 0, leçon 1, 否定形：自己紹介から使い方練習。	
第12回	先週のまとめ。Bonjour Paris; leçon 2.日常会話パート１	
第13回	先週のまとめ。Bonjour Paris; leçon 3. 日常会話パート２	
第14回	前期のまとめ。復習	
第15回	前期テスト	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	中国語Ⅰ		
講義コード	J605		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	陳　晨		

意義と目的

語学力を生かして社会貢献を行うこと、また自分自身を磨くことを心がけてみましょう。中国語の学習は、英語より差がつきやすく、将来のキャリアデザインに役立つことが大いに期待されています。

到達目標

初期段階における発音のコツ（アクセント・発声）、基本表現（日常会話・旅行会話）を習得すること、また中国語検定準４級に準ずるレベルに到達することを目指しましょう。

方法

教材を中心に学習する予定です。授業の前半は講義形式で、後半から学生さんからの朗読、会話練習、スピーチ発表などの演習形態に変わります。

評価方法

１）期末筆記試験（９０％）　　２）授業態度（１０％）

留意事項

原則として前期・後期両方の履修登録が望まれます。（学習1年後、中国語検定準４級に準ずるレベルに到達する見込み）。また、教科書の購入と持参は必須です。

教科書

書名1 中国語の１年め 著書名　緒方昭・小林光考編　出版社 白水社 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

テキストに付属のCDと練習冊を活用してください。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	中国語と中国：私たちが学ぶ「中国語」とは？	教科書の「中国語プロローグ」を予習すること。
第2回	発音学習①　中国語のアクセント（四声・軽声）と単母音	いままで知っている中国語の単語とそのイメージを思い出すこと
第3回	発音学習②　子音	前回の復習が必要なこと。
第4回	発音学習③　鼻母音と複合母音	母音との比較を心がけること。
第5回	発音学習④　発音学習のまとめ・挨拶言葉	発音についてのまとめということで、以前の内容と関連づけて習得すること。
第6回	ピンインのテスト	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第7回	第１課　中国人留学生と知り合う。（自己紹介・人称代名詞・疑問文の表現）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第8回	第２課　携帯の写真を見て。（動詞述語文・指示代名詞・的の用法）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第9回	第３課　一緒に勉強しましょう。（形容詞述語文・所有を表す表現・時を表す語の位置）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第10回	第４課　ファストフード店で。（場所を表す代名詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第11回	中国語映画鑑賞①	鑑賞後の感想文（日本語）を提出すること
第12回	第５課　Tシャツを買う。（数詞、量詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第13回	第６課　何を食べたい？（助動詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第14回	全体の復習	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第15回	模擬小テスト	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅢ		
講義コード	J606		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉村　いづみ		

意義と目的

英語のコミュニケーション力をつけるとともに、TOEICなどの資格試験で高得点を目指す。

到達目標

一人で海外旅行に行き、空港やホテル、現地の観光名所で基礎的なコミュニケーションができる。TOEICで450から500点を取得できる英語力がある。

方法

TOEIC形式のテキストを使い、語彙、表現、リスニング力、リーディング力を鍛える。翌週は、毎回小テストを行い、前週に覚えた語彙をチェックする。

評価方法

小テスト20%、授業参加度20%、定期試験60%。

留意事項

新しい語彙はその都度覚えて使えるようにすること。

教科書

旅英語の心得　Enjoy Your Trip!　English you need abroad

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	At the airport （空港で必要な表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第2回	On the plane（機内で使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第3回	Arrival （到着後、入管、税関で使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第4回	Checking in at the hotel（ホテルの宿泊）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第5回	Getting information and sightseeing（観光）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第6回	Ordering fast food（ファストフードの注文）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第7回	Going to the theater（観劇に使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第8回	At the restaurant （レストランの英語）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第9回	Shopping （買い物で使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第10回	Lost and found （紛失物を説明する）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第11回	Using public transportation（公共交通を使う）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第12回	Renting a bike （自転車を借りてみよう）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第13回	Finding your way around（道案内の英語）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第14回	Medical care （医療の基本表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第15回	Leaving for home（帰国時の表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅲ		
講義コード	J607		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	冨永　将史		

意義と目的

実社会においては、様々な場面で情報を視覚的に表現する技術が要求される。
図形や文章等の情報を表現する能力を習得し、プレゼンテーションやホームページを作成する技術を養う。

到達目標

・パワーポイント・ホームページビルダーを理解できる
・プレゼンテーション作成検定試験２級程度の技能を持つことができる
・ホームページ作成検定試験２級程度の技能を持つことができる

方法

プレゼンとＷｅｂサイトの基礎について講義で学ぶ
パワーポイントとホームページビルダーの操作方法についてテキストを基に学ぶ
試験問題集を繰り返し解くことで理解を深める

評価方法

プレゼンテーション作成実技試験 ４０％
ホームページ作成実技試験 ３５％
授業態度 １５％
資格試験合格 プレゼン５％，ホームページ５％

留意事項

本授業は実技演習が主体であり、特に利用ソフトの使用法を学ぶ
回を休むと挽回が困難になるため欠席しないこと。
授業では扱う教科書（問題集）を忘れないこと。

教科書

プレゼンテーション作成検定試験模擬問題集 １・２級編：日本情報処理検定協会
ホームページ作成検定試験模擬問題集 ２級編：日本情報処理検定協会

参考文献

日本情報処理検定協会 ワンポイント
https://www.goukaku.ne.jp/text_onepoint.html#SP

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	プレゼンテーションソフトPoewrPointの概要 パワーポイントを用いた自己紹介の作成	事後：日本情報処理検定協会のＷｅｂサイトを確認する
第2回	PoewrPoint：文字とフォント、図形、画像の挿入、表の挿入など ３級問題内容	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第3回	PoewrPoint：図形の加工、グラフの挿入など ２級問題内容	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第4回	インターネットとホームページの概要 HP：文字、画像、表、リンク、複数ページ、フレームページの作成 ２級問題内容	事前：「ホームページ作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：日本情報処理検定協会のＷｅｂサイトを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第5回	PoewrPoint：試験模擬問題の練習①	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第6回	PoewrPoint：試験模擬問題の練習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第7回	PoewrPoint：試験模擬問題の練習③	事後：途中までの練習問題を完成させる
第8回	HP：試験模擬問題の練習①	事前：「ホームページ作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第9回	HP：試験模擬問題の練習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第10回	HP：試験模擬問題の練習③	事後：途中までの練習問題を完成させる
第11回	PoewrPoint：試験対策	事後：授業時間内に未実施の課題を行う
第12回	PoewrPoint：検定試験	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する
第13回	ＨＰ：試験対策	事後：授業時間内に未実施の課題を行う
第14回	ＨＰ：検定試験	事前：「ホームページ作成検定試験」ワンポイントを確認する
第15回	結果の自己分析と対策	事後：結果を振り返り間違っていた箇所を再度確認する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	トレーニング論		
講義コード	J651		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

トレーニングの生理学、栄養学、救急法の理論などを学び、合理的なトレーニングの実践に結び付ける。活動的なライフスタイルやダンスなどのパフォーマンス向上に役立てる。

到達目標

ダンスインストラクターやフィットネスクラブのインストラクターに不可欠な基礎知識を身に付けることができる。生涯にわたり運動を実践するための基礎知識を身に付けることができる。

方法

フィットネ業界などで働くために必要な知識を中心に学習する。

評価方法

授業態度　50%
毎回の課題　20%
まとめの課題　30%

留意事項

身体機能を維持向上させるためには、トレーニングに関する基礎知識を理解する必要がある。

教科書

参考文献

トレーニングの科学的基礎（宮下充正　著）ブックハウスＨＤ

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	身体活動やスポーツで働く骨格筋の基礎知識を学ぶ	各骨格筋の働きを調べる
第2回	身体活動やスポーツで働く骨格筋の基礎知識を学ぶ	
第3回	スポーツ・運動とエネルギー供給系の基礎知識について学ぶ　（心臓血管系及び呼吸器系）	エネルギー供給の方法を調べる
第4回	スポーツ・運動とエネルギー供給系の基礎知識について学ぶ　（心臓血管系及び呼吸器系）	
第5回	身体活動やスポーツで働く神経系の基礎知識を学ぶ	
第6回	身体活動やスポーツで働く神経系の基礎知識を学ぶ	
第7回	体力の要素と体力測定の方法学ぶ	
第8回	運動実施における年齢別の必要性や留意点を考える	
第9回	運動実施における年齢別の必要性や留意点を考える	
第10回	生活習慣病と栄養の基礎知識を学ぶ	
第11回	生活習慣病と栄養の基礎知識を学ぶ	
第12回	身体活動の安全管理の基礎知識を学ぶ	
第13回	スポーツ傷害の予防や救急法の基礎知識を学ぶ	
第14回	運動処方の基礎知識についてまとめる	
第15回	運動処方の基礎知識についてまとめる	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	フランス語Ⅱ		
講義コード	J652		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ペリエ　岩田　フロラン		

意義と目的

フランス語を崖性に理解

到達目標

フランス語で物事をシンプルに表現するために学生に基礎的なツールを提供

方法

毎週、レッスンの目的を説明してからクラースが始まります。次は教科書のレッスンのプレゼンテション。説明する事をいつもボオードに書きます。

評価方法

筆記テスト。ノートと教科書と日仏辞書は持ち込みOK. テストで出る問題は：日本語の文書をフランス語に訳する事とフランス語の質問にフランス語で答えることです。

留意事項

バラバラのシートよりもノートを使ってください。毎週日つけとレッスンの内容を書き忘れないよに。

教科書

書名1 F comme français（前期と同じ教科書です）著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	補正テストと復習	
第2回	補正テストと復習	
第3回	補正テストと復習	
第4回	家族の語彙と所有形容詞。使い方練習	
第5回	先週のまとめ。avoir動詞と否定形	
第6回	先週のまとめ。他の動詞の否定形	
第7回	先週のまとめ。品質形容詞と名刺の生と数。使い方練習。	
第8回	先週のまとめ。カフェで注文する。使い方練習。	
第9回	先週のまとめ。移動する動詞と前置詞の使い方。練習	
第10回	先週のまとめ。時間と天気の言い方。質問答え練習	
第11回		
第12回	先週のまとめ。video Bonjour Paris, leçon 5 et 6	
第13回		
第14回		
第15回		

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	中国語Ⅱ		
講義コード	J653		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	陳　晨		

意義と目的

語学力を生かして社会貢献を行うこと、また自分自身を磨くことを心がけてみましょう。中国語の学習は、英語より差がつきやすく、将来のキャリアデザインに役立つことが大いに期待されています。

到達目標

初期段階における発音のコツ（アクセント・発声）、基本表現（日常会話・旅行会話）を習得すること、また中国語検定準４級に準ずるレベルに到達することを目指しましょう。

方法

教材を中心に学習する予定です。授業の前半は講義形式で、後半から学生さんからの朗読、会話練習、スピーチ発表などの演習形態に変わります。

評価方法

１）期末筆記試験（９０％）　　２）授業態度（１０％）

留意事項

原則として前期・後期両方の履修登録が望まれます。（学習1年後、中国語検定準４級に準ずるレベルに到達する見込み）。また、教科書の購入と持参は必須です。

教科書

書名1 中国語の１年め 著書名　緒方昭・小林光考編　出版社 白水社 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

教科書別冊の「自習単語帳」を自主的に使うこと。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション・前期の復習	前期内容についての復習が望まれる
第2回	第７課　一緒に遊びに出かける。（時刻・曜日・日付の表現）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第3回	第８課　花火は何時から。（前置詞１・完了表現・動詞の重ね型）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第4回	第９課　学園祭。（助動詞・経験表現・動量詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第5回	第１０課　カラオケに行く。（様態補語・前置詞２）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第6回	第１１課　中国の映画を見る。（結果補語・進行形）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第7回	第１２課　帰国を前にして。（方向補語・比較の表現）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第8回	第１３課　空港で。（可能補語・二重目的語）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第9回	中国語検定特別講義１：補語についてのまとめ学習	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第10回	中国語検定特別講義２：助動詞についてのまとめ学習	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第11回	中国映画鑑賞②	鑑賞後の感想文（日本語）を提出すること
第12回	全体の復習①（前期内容）	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第13回	全体の復習②（後期内容）	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第14回	全体の復習と模擬テスト１	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第15回	全体の復習と模擬テスト２	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅣ		
講義コード	J654		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

The aim of the course is to balance a communicative approach to language learning in order to best prepare students for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

到達目標

Completion of this course will result in students knowing how to converse in both formal and informal English, about a variety of topics.

方法

Students will be presented with the materials and language tools to engage in discussions about all matters in personal and professional life.

評価方法

Quizzes 50%　Final Conversation Exam 50%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

The English Course: Speaking Book 1 (First Edition)
Author: Gary Ireland; Kevin Murphy; Max Woolerton
Publisher: The English Company
ISBN978-49902962-2-3

参考文献

TOEFL study materials will be provided by the Instructor

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Unit 1 – Introductions Formal and Informal Introductions	
第2回	Self-introductions Introducing other people	
第3回	Unit 2- Starting conversations Conversational openings-Making small talk	
第4回	Unit 3 – Developing conversations Asking appropriate questions	
第5回	Short Conversation Quiz#1	
第6回	Rebounding questions Responding to questions	
第7回	Unit 4 – Making invitations and suggestions Review of Units 1-4	
第8回	Unit 5 – Likes/dislikes,preferences	
第9回	Expressing emotions and feelings	
第10回	Unit 6 – Requests Asking and Offering to do something	
第11回	Unit 7 – Stating Opinions Agreeing and Disagreeing	
第12回	Short Conversation Quiz #2	
第13回	Unit 8 – Asking for and giving advice Review of Units 5-8	
第14回	Final conversation test practice	
第15回	Final Short Conversation	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅳ		
講義コード	J655		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16J	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	服部　ミドリ		

意義と目的

実社会においては、様々な場面で情報を視聴覚的に表現する技術が要求される。この授業では、図形処理能力やデザイン能力を習得し、総合的プレゼンテーション出来る能力を養う。

到達目標

①画像データの処理・加工・編集が出来る。②画像データを更に展開、修正・合成・デザインが出来る。③企画から表現まで、総合的なデザインが出来る。

方法

グラフィック系ソフト、Photoshop&Illustratorを使用し、レクチャー形式で基本操作を理解。その後、企画からそれらを成果物に仕上げる迄、一連の流れをマスターする。

評価方法

実技テスト(50%)、製作作品(40%)、授業態度(10%)

留意事項

実技主体の授業の為、最初のレクチャーでは欠席しない様に気を付けて下さい。実技試験ではメモ持参可能、各自メモ取りの癖付けを。質疑応答し易い環境です。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	授業概要、コンピュータ概論、グラフィックソフト詳細	事前：メモ持参、グラフィックソフト研究
第2回	Photoshop基本操作①	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第3回	Photoshop基本操作②	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第4回	Photoshop基本操作③	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第5回	Photoshop基本操作④	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第6回	企画制作（Photoshop）応用課題Ⅰ	事前：課題の為の資料・アイデア収集
第7回	企画制作（Photoshop）応用課題Ⅱ	事前：課題の為の資料収集・デザイン企画
第8回	企画制作（Photoshop）応用課題Ⅲ	関連：企画整理・作品完成度の向上
第9回	（Photoshop）復習	事後：今迄の授業内容メモ確認、データ整理
第10回	（Photoshop）確認実技	関連：今迄の授業内容の総合理解、実技まとめ
第11回	Illustrator基本操作①	事前：メモ持参、グラフィックソフト研究
第12回	Illustrator基本操作②	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第13回	Illustrator基本操作③	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第14回	Illustrator基本操作④	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第15回	（Photoshop,Illustrator）復習	関連：今迄の授業内容の総合理解、実技まとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅰ		
講義コード	J701		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	J702		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	J703		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	インターンシップⅠ		
講義コード	J704		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

実際にダンスのレッスンや作品を作り上げる現場やそれぞれのダンスの楽しさを提供する場面を間近に見て、そのプロセスやポイントとなるスキルを学ぶ。

到達目標

即戦力になりうるダンサーの育成をモットーにするコースに相応しい好奇心旺盛な向学心あふれる態度になる。

方法

研修先の現状や学生の能力に合わせたスケジュールを立て、フレキシブルな対応で実施する。

評価方法

授業態度　70%
レポート課題　30%

留意事項

現場での姿勢は、プロダンサーの一員になるという意識を前面に出すようにする。（研修内容は基本的な内容）

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	企画書作成から全体の流れをイメージする	
第2回	企画書作成から全体の流れをイメージする	
第3回	企画書作成から全体の流れをイメージする	
第4回	現場でのオリエンテーション	
第5回	現場でのオリエンテーション	
第6回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第7回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第8回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第9回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第10回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第11回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第12回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第13回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第14回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第15回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第16回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第17回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第18回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第19回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第20回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第21回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第22回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第23回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第24回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第25回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第26回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第27回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第28回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第29回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第30回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第31回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第32回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第33回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第34回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第35回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第36回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第37回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第38回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第39回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第40回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第41回	現場体験から得たものをまとめる	
第42回	現場体験から得たものをまとめる	
第43回	現場体験から得たものをまとめる	
第44回	現場体験から得たものをまとめる	
第45回	現場体験から得たものをまとめる	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	インターンシップⅡ		
講義コード	J705		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

実際にダンスの作品を作り上げる現場やそれぞれのダンスの楽しさを提供する場面を間近に見て、そのプロセスやポイントとなるスキルを学ぶ。

到達目標

即戦力になりうるダンサーの育成をモットーにするコースに相応しい好奇心旺盛な向学心あふれる態度になる。

方法

研修先の現状や学生の能力に合わせたスケジュールを立て、フレキシブルな対応で実施する。

評価方法

授業態度　70%
レポート　30%

留意事項

学生としてでなく、プロダンサーの一員になるという自覚で臨む。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	各自企画書を作成する	
第2回	各自企画書を作成する	
第3回	各自企画書を作成する	
第4回	現場でのオリエンテーション	
第5回	現場でのオリエンテーション	
第6回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第7回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第8回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第9回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第10回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第11回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第12回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第13回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第14回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第15回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第16回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第17回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第18回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第19回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第20回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第21回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第22回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第23回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第24回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第25回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第26回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第27回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第28回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第29回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第30回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第31回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第32回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第33回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第34回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第35回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第36回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第37回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第38回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第39回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第40回	状況に応じて各自の企画を展開させる	
第41回	現場体験から得たものをまとめる	
第42回	現場体験から得たものをまとめる	
第43回	現場体験から得たものをまとめる	
第44回	現場体験から得たものをまとめる	
第45回	現場体験から得たものをまとめる	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	J751		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	J752		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	J753		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	学外研究Ⅰ		
講義コード	J754		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1.00	時間	45.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

ダンスカンパニーなどのツアー公演のキャストやスタッフとして研修する。プロの厳しさを肌で感じる。

到達目標

プロのダンスに取り組む姿勢を知る。

方法

将来を見据えた体験型の授業である。

評価方法

実技課題　80%　態度　20%

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション	活動日誌で1日を振り返る
第2回	ダンスパフォーマンス等のチェック	活動日誌で1日を振り返る
第3回	ダンスパフォーマンス等のチェック	活動日誌で1日を振り返る
第4回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第5回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第6回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第7回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第8回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第9回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第10回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第11回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第12回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第13回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第14回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第15回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第16回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第17回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第18回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第19回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第20回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第21回	スタッフやキャストしてダンスカンパニーで学ぶ	活動日誌で1日を振り返る
第22回	総合的な振り返り	活動日誌で1日を振り返る
第23回	総合的な振り返り	活動日誌で1日を振り返る

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅠ		
講義コード	J755		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅡ		
講義コード	J756		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	レクリエーション校外実習		
講義コード	J757		
開講責任部署	テーマパークダンス・バレエコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1.00	時間	45.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16J	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　博人		

意義と目的

ホスピタリティあふれるレクリエーション支援のスキルを積極的に生かせる機会として、実習現場（フィットネスクラブ）やイベントにスタッフ参加することは、生活文化の質の向上につながる。

到達目標

自分の好みに合致したレクリエーションを発見する事ができる。フィットネス実習やイベントのスタッフなどを体験し、ホスピタリティの重要性を体感することができる。

方法

フィットネスクラブでインストラクターの仕事を体験する。レクリエーションのイベントにスタッフとして参加する。継続的にレクリエーションを実践する方法を知る。

評価方法

実習態度　80%　レポート課題　20%

留意事項

実習先のスタッフとのコミュニケーションをしっかりとり、書き留める習慣をつかる。

教科書

参考文献

レクリエーション支援の基礎（公益財団法人日本レクリエーション協会）

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第2回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第3回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第4回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第5回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第6回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第7回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第8回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第9回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第10回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第11回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第12回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第13回	レクリエーション・イベント事業参加を体験し、実践方法を研究する	体験日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第14回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第15回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第16回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第17回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第18回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第19回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第20回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第21回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第22回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する
第23回	フィットネスクラブ・現場実習を体験し、スタッフの役割を研究する	実習日誌に出来事、気付いたこと、感想などを記入する